

HISグループ

統合報告書 2025

HIS
「心躍る」を解き放つ

HIS



HIS Group Purpose

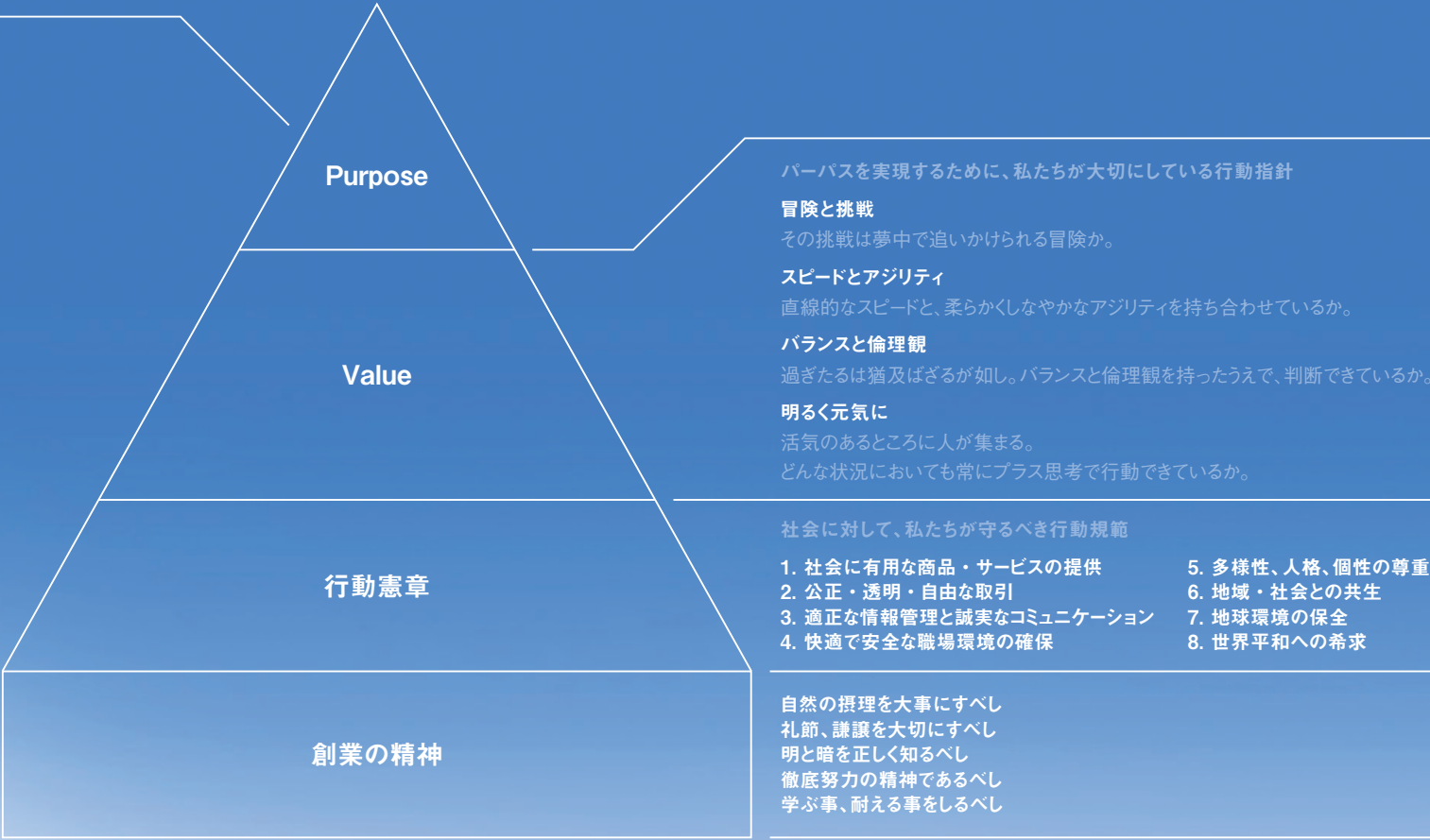
ココロオドル

「心躍る」を解き放つ

未知との出会い、人との繋がり、豊かな時間、ワクワク、高揚感、そして平和への想い。
私たちは「心躍る」を解き放ち、未だ見ぬ世界をつくるため、冒険する挑戦者で在り続けます。

HIS Group Philosophy

HIS Group Philosophyは、私たちの理念です。
社会における存在意義をしめす「HIS Group Purpose」と、
実現するための行動指針「HIS Group Value」をもとに、
皆様への価値の提供の最大化を目指してまいります。



株式会社エイチ・アイ・エス
創業者 最高顧問

澤田 秀雄

1980年12月、机二つ、電話一本からはじまったHISの冒険は、時代に合わせ変化・進化を体現し、走り続けてきました。当時、旅行は誰もが楽しめるものではなく、その環境を改革することを使命とし、「一人でも多くの人に世界を旅してほしい」「旅を通じて得た経験から新しい扉を開いてほしい」という想いのもと、挑戦を続けてまいりました。この想いは、創業当時から今、そして未来においても変わらないHISの創業の根幹です。これからも、世界中の人々の距離がより近くなることを願い、使命を追求し続けたいと思います。引き続き、皆様の変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

HIS Group Purpose 動画 ▶ <https://youtu.be/0vRiqXMirR8>



CONTENTS

P1 HIS Group Philosophy
P3 価値創造プロセスと歩み
P5 社長メッセージ
P9 中期経営計画
P15 HIS JAPAN

P27 ホテル事業
P29 地域創生事業
P31 その他の事業
P33 新規事業のご紹介

P35 サステナビリティ
P37 環境
P41 社会
P49 ガバナンス
P57 財務情報
P59 会社概要

価値創造プロセスと歩み

HISグループは、1980年に格安航空券の販売で創業し、当時は高額であった海外旅行を手の届く価格で普及させ、多くの人々に未知との出会いや人とのつながりなどの「心躍る」体験のサポートをしてまいりました。そして現在、その挑戦心とグローバルネットワークを活かして旅行関連事業を拡大するとともに、飲食事業、教育事業、公共交通事業、商社事業、通信サービス事業など事業の多角化を図り、これからも皆様に選ばれ続ける企業であるために変化し続けてまいります。

外部環境



リスク 機会

- a. 経済・社会情勢の変化
- b. 市場の変化
- c. 技術革新への対応
- d. 提供するサービスの安全管理・品質管理
- e. システム・設備の障害などによるサービスの中断・品質低下
- f. 人材の育成・確保
- g. 気候変動・環境規制
- h. ガバナンス
- i. 経理・財務

⇒ 詳細はP.56

マテリアリティ(重要課題)

ビジネスモデルの変革

サービス品質の向上

多様な人財の活躍

お客様への安心・安全の提供

地域社会との共生

地球環境の保全

ガバナンス強化



⇒ 詳細はP.35

HIS Group Value

冒険と挑戦

スピードとアジリティ

バランスと倫理観

明るく元気に



HISの強み

顧客基盤

グローバルネットワーク

人財

FY2024-2026中期経営計画

HISグループ50周年にむけた
「コア領域の変革」と「新規領域への挑戦」

アクションプラン6項目

コア領域【旅行業】	新規領域
① グローバルネットワークの活用	
② 生涯顧客の創造(LTV最大化)	
③ 業務効率化・コスト構造改革	④ 旅行関連事業・非旅行事業の成長
⑤ M&Aによる成長(投資戦略)	
⑥ 人財戦略(人的資本経営)	

⇒ 詳細はP.9

HISグループ50周年に目指す姿
Vision2030

挑戦心あふれ 世界をつなぎ
選ばれ続ける企業に
Change & Create

1980

前身「株式会社インターナショナルツアーズ」を、東京・西新宿に設立
関西地区の拠点として大阪営業所オープン

1983

九州地区の拠点として福岡営業所オープン

1985

初の海外拠点として香港支店オープン

1989

初の自社主催商品「Ciao(チャオ)」発売
「アバンティ&オアシス」を新橋営業所に開設

1991

「ビジネスセクション」
「グループセクション」開設
(現：法人営業本部)

1995

日本証券業協会に
株式を店頭登録

2000

(株)豊和トラベルサービス
(現：(株)オリオンツアー)を子会社化

1998

国内拠点
100店舗突破

2004

東京証券取引所
市場第一部へ上場

1999

添乗員同行の商品
「impresso
(インプレッソ)」発売

2002

(株)クルーズプラネットを
子会社化
東京証券取引所
市場第二部へ上場

1981

一般旅行業代理店業
【第3034号】取得

1984

中部地区の
拠点として
名古屋営業所
オープン

1986

一般旅行業
【第724号】取得

1993

旗艦店「トラベルワンダー
ランド新宿本社営業所」
オープン

1996

スカイマークエアラインズ(株)設立(現在はグループ外)
THE WATERMARK HOTEL GOLD COASTオープン
(現在はグループ外)
商品サイト開設

1990

社名を「株式会社エイチ・アイ・エス」に変更
国際航空運送協会(IATA)に公認代理店として認可される

2009

(株)欧州エクスプレスを
子会社化

2012

GUAM REEF HOTEL Inc.を子会社化
九州産業交通ホールディングス(株)を子会社化
ASIA ATLANTIC AIRLINES Co., Ltd.設立
(現在はグループ外)

2015

「変なホテル ハウステンボス」開業
(現在はグループ外)

2011

(株)ジャパンホリデー
トラベルを子会社化

2014

(株)ラグーナテンボス設立

2010

ハウステンボス(株)を子会社化
(現在はグループ外)
ワンランク上の旅を扱う
(株)クオリタ設立

2016

H.I.S.ホテルホールディングス(株)設立
MERIT TRAVEL GROUPを子会社化
エイチ・エス損害保険(株)を子会社化

2017

H.I.S. SUPER電力(株)設立(現在はグループ外)
(株)エイチ・アイ・エス沖縄設立
Group Miki Holdings Limitedを子会社化
Green World Hotels Co., Ltd.を子会社化
Jonview Canada Inc.を子会社化

2019

Red Label
Vacations Inc.を
子会社化

2021

「リゾートホテルクミアイランド」の事業を継承
人材派遣事業の(株)グリーンオーシャン設立
「HOTEL VISON」オープン
旅館再生事業第一号の「満天ノ 辻のや」開業

2022

HIS Group Purposeを制定し、コーポレートロゴを一新
東京証券取引所 市場第一部から
新市場区分「プライム市場」へ移行
「GLAMHIDE WITH DOG KOMATSU」オープン

2023

SCI Stenberg College International Inc.を子会社化
(株)国連社(現(株)エイチ・アイ・エス
デザイン アンド プラス)を子会社化

2024

旗艦店を「トラベルワンダーランド新宿」
として新宿西口へ移転リニューアル
Cross Eホールディングス(株)が
福岡証券取引所Q-Boardへ上場

社長メッセージ



ココロオドル
「心躍る」価値を提供し、
選ばれ続ける企業グループへ

株式会社エイチ・アイ・エス
代表取締役社長 (CEO)
矢田 素史

パーパスの実現に向けて

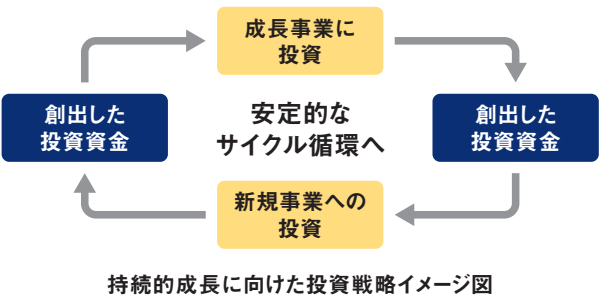
平素より格別のご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
HIS Group Purpose「心躍る」を解き放つは、「旅を通じて未知との出会いを解き放ち、常識を問い直してきた創業時からの軌跡」と「常に「挑戦者」であるというアイデンティティ」をもとに、2022年12月に制定しました。
制定から3年目を迎えるにあたり、これからのHISグループにとって重要なのは、グループ全体で醸成されてきた「共感」を基盤に、私たち自身がパーパスを推進するという「コミットメント」を持ち、さらに従業員一人ひとりがパーパスを意識した「自発的な行動」を実践することだと考えております。
パーパスのさらなる浸透を図るための取り組みとして、2024年4月より「未来のHISがどうありたいか」をテーマに、年齢や役職を問わず自ら手を挙げたスタッフと経営陣が集まり、多様な視点から新たな提案を行う場として「ミライノジカン」を立ち上げました。これまでに3回開催

しており、パーパスの共有と、それを実現するための具体的な行動を生み出す貴重な機会となっています。
また、パーパスの実現に向けた取り組みを進める中で、2030年の創業50周年に向けて、Vision2030「挑戦心あふれ 世界をつなぎ 選ばれ続ける企業に Change & Create」を掲げています。このビジョンは、パーパスを実現するための重要な指針となります。創業の原点である「挑戦心」を大切に、自ら挑戦を続けるとともに、世界中の挑戦を支援しながら社会とともに成長し、より良い未来を目指します。さらに、グローバルネットワークを活用し、地域社会から宇宙に至るまで幅広いビジネスフィールドで、世界をより近いものに、HISグループだからこそ提供できる価値を創出し、お客様、社会、全てのステークホルダーの皆様から選ばれ続ける企業を目指して全力で取り組んでまいります。

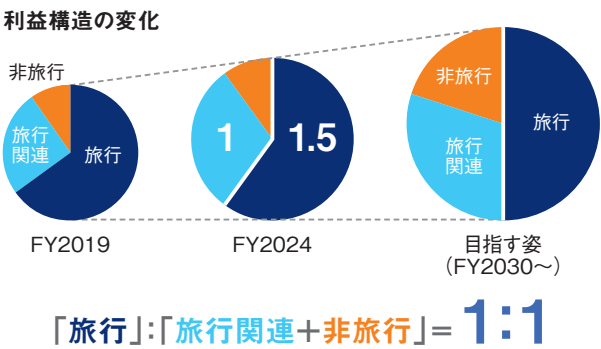
中期経営計画の推進

2030年に向けて掲げた「Vision2030」、その実現に向けた具体的な道筋として「中期経営計画(2024-2026年10月期)」を推進しています。本計画では、「コア領域の変革」と「新規領域への挑戦」を核とし、持続的な成長と企業価値の向上を目指しています。
中期経営計画1年目(2024年10月期)では、円安や燃油サーチャージの高止まり、物価上昇といった経済的要因があるなか、営業利益は期初予想を上回る進捗を見せ回復、成長を着実なものとししました。特に、旅行事業ではレジャー需要の回復を促進し、HISグループの強みである「グローバルネットワーク」を活用し、日本人の海外旅行、海外における旅行事業、そして、ホテル事業が収益を支えました。
現在進行中の2年目(2025年10月期)では、売上高3,900億円、営業利益120億円の達成を目標に、組織改革と事業ポートフォリオの再構築を推進しています。日本における旅行事業を一元管理することを目的に「HIS JAPAN」を新設し、経営資源を今まで以上に迅速かつ柔軟に配分し、より全体最適を追求できる機動的な組織へと改編しました。また、2030年に向けて「旅行事業」と「非旅行事業(旅行関連事業を含む)」の営業利益比率を1:1にする目標を掲げ、非旅行事業のさらなる成長を目指しています。
アクションプランとして、旅行事業としてはグローバルネットワークを活用し、北欧や南米など新規デスティネーションの開拓を進めるとともに、グローバルマーケットの強化やホテル事業など非旅行事業の拡大を図っています。また、生涯顧客の創造(LTVの最大化)を目指し、

「TAViCA」として生まれ変わったコーポレートカードの進化や、店舗、オンライン、コールセンターなど多様な顧客接点の整備を通じ、自社経済圏を構築し収益力を高めていきます。
さらに、M&Aおよびスタートアップ投資を成長戦略の一つとして位置づけ、持続的な成長に向けた安定的な投資サイクルの循環に取り組んでいます。旅行および旅行関連領域では既存事業を補完、拡大し、非旅行事業領域では将来性のある新たな事業への投資を積極的に検討しています。具体的には、ロールアップ戦略を活用し、大・中・小規模の案件を国内外問わずバランスよく実行することで、事業領域の拡大と事業ポートフォリオの多様化による収益の多様化やリスク分散を図っています。M&A後のPMI(統合プロセス)を通じて、グループ全体のシナジーを最大化し、グループ業績への貢献を目指します。



旅行関連事業では、ホテル事業の新規開発やブランド拡張を積極的に進める一方、非旅行事業においては飲食や通信など新たな分野への挑戦を続け、着実に成果を上げています。具体的には、全国26県107施設(2025年3月時点)を展開するコンテナホテル事業を手掛けるデベロップ社の株式を取得し、持分法適用会社とすることで、さらなる事業拡大を図っています。また、新規事業として展開した飲食事業では、2024年2月に「豊洲 千客万来」にオープンした「海鮮バイキング いろは」が、厳選された鮮魚を含む約50種類のバイキングメニューを提供し、多くのお客様から高い評価をいただいています。
引き続き中期経営計画で掲げた戦略を着実に実行していきます。



> 人的資本経営を実践

「人財こそが価値創造の源泉である」という信念のもと、社員一人ひとりが働きがいを感じ、心躍る仕事ができる環境づくりに取り組んでいます。多様性を力に変えるため、DEIB(Diversity, Equity, Inclusion, Belonging)の推進を重要なテーマとし、社員が自分らしく挑戦し成長できる基盤を整備しています。特に女性活躍の推進においては、女性管理職・役員比率の拡大を目指し、数値目標を掲げたプロジェクトを展開するとともに、ジェンダーを問わず仕事と育児を両立できる環境整備にも注力しています。

また、グローバルな事業展開を支える多国籍の人財の活躍を促進するため、海外関係会社における外国籍マネージャー比率を2026年10月期までに65%に引き上げる目標を掲げるなど、国籍や文化を超えた多様な人財

の成長を支援しています。

加えて、社員が安心して働ける快適で安全な職場環境の整備を進め、身体的・心理的安全性を確保しながら、社員満足度の向上にも取り組んでいます。働きがいの指標としている社員満足度調査では、2024年10月期に実施した調査結果でHIS単体の満足度が過去最高の64.5%を記録しました。また、今回から調査対象をHIS単体からグループ全体に拡大し、65.1%となりました。今後も全世界で80%以上の達成を目指し、引き続き取り組んでまいります。

社員一人ひとりの声に真摯に耳を傾け、多様性を尊重しながら、働きがいのある職場づくりと人財育成を通じて、持続的な成長と価値創造を実現してまいります。

> 財務戦略



持続的な成長と企業価値の向上を実現するため、財務基盤の強化を最重要課題の一つとして位置づけています。特に、自己資本比率の回復を目指し、資本増強と有利子負債の削減に取り組むことで、より安定した経営基盤の構築を進めてまいります。

旅行事業においては、コロナ禍からの回復が想定より

も緩やかではあるものの、着実に回復しており、2025年10月期においても収益性の向上を図ることで、利益をさらに積み上げてまいります。また、グループ内全ての事業においても、効率的な運営を心掛け、HISグループ全体の収益性向上に努めてまいります。

有利子負債の削減においては、2024年10月に本社社屋を買い戻すことで、約324億円の有利子負債を削減することができました。さらに、グループ内の現預金管理を徹底し、資金の有効活用を推進してまいります。

最後に、HISグループが継続的な成長をしていくために、限られたリソースを収益性・将来性の高い事業に集中し、成長分野への積極的な攻めの投資を継続することで、企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

株主の皆様への利益還元においても、業績の回復にともない、安定的かつ継続的な還元を再開する方針です。今後も、財務戦略を通じて、持続可能な成長と価値の最大化を実現してまいります。

> 持続可能な未来のために

HISグループは、国籍や人種、文化、宗教などの違いを越え、多様性と人権を尊重し、全ての人々が安心して暮らせる社会と地球環境の保全を目指しています。共存・共生・共栄の社会を築くため、事業を通じて社会課題や環境問題に真摯に向き合い、「心躍る」未来を創造してまいります。

2024年10月期には、温室効果ガスの定量的な実績把握を進めるとともに、SAF(持続可能な航空燃料)分野への投資を行い、沖縄県のホテルやタイ・バンコク市内の観光において電気自動車の導入を推進しました。また、HISグループは人権の尊重をサステナビリティの根幹と位置づけ、役員・従業員が互いに尊重し合い、サプライチェーン全体で人権を尊重する事業運営を重視しています。この考えを明確にし、責任を果たすため、2024年12月に「HISグループ人権方針」を策定しました。グループ内での浸透と事業活動への定着を図ると

もに、取引先にも本方針への理解と賛同を求め、人権デュー・デリジェンスの仕組みを構築・実施してまいります。

また、皆様から信頼され、選ばれ続ける企業を目指すためには、持続的な成長と企業価値向上、および、コーポレート・ガバナンスの実効性を高めることが不可欠と認識しています。従業員一人ひとりがHIS Group Philosophyに基づき、ステークホルダーの皆様の権利・立場や健全な事業活動倫理を尊重する企業文化・風土の醸成に取り組むとともに、今後は、リスク管理体制の強化や取締役の専門性向上、非財務情報の定量的目標設定など、さらなる改善に努めてまいります。

HISグループは、サステナビリティ経営を推進し、企業価値の向上と持続可能な未来の実現に向けて挑戦を続けてまいります。

雇用調整助成金等の取り扱いに関して

HISグループ全体における雇用調整助成金等の取り扱いに関しまして、お客様をはじめ全てのステークホルダーの皆様にご心配とご迷惑をおかけしましたこと、心より深くお詫び申し上げます。

今回の事態を厳粛に受け止め、再発防止に向けた具体的な対策を講じるとともに、私たちが社会に提供し続けていきたい価値、行動指針、創業の精神を示した「HIS Group Philosophy」に則り、グループを挙げて、

内部統制の強化およびコンプライアンスの徹底によりガバナンス体制を強化して企業価値を高め、皆様からの信頼回復に努めてまいります。

今後とも、HISグループに対し変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2025年3月
代表取締役社長(CEO)
矢田 素史

アクションプラン 1 グローバルネットワークの活用

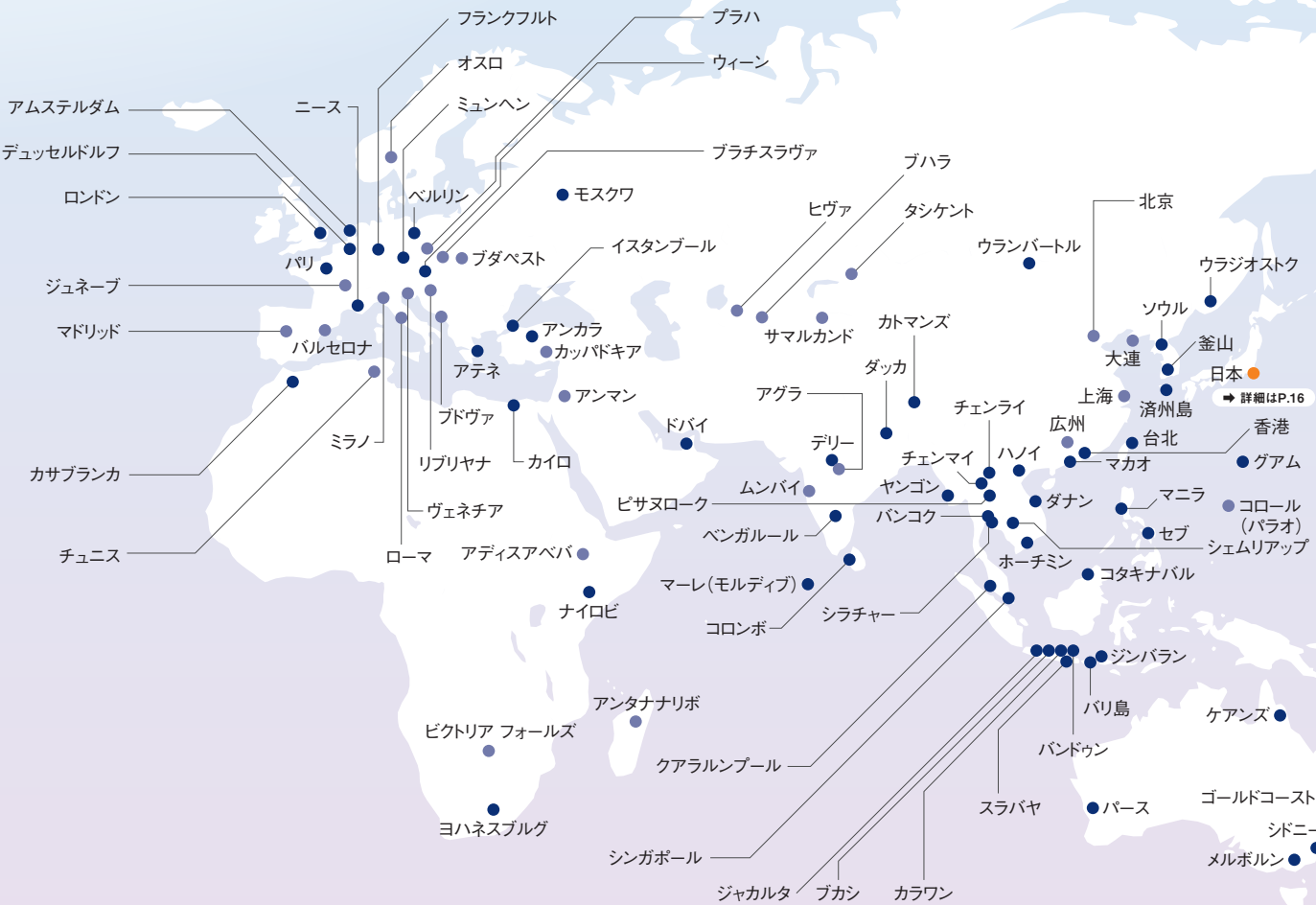
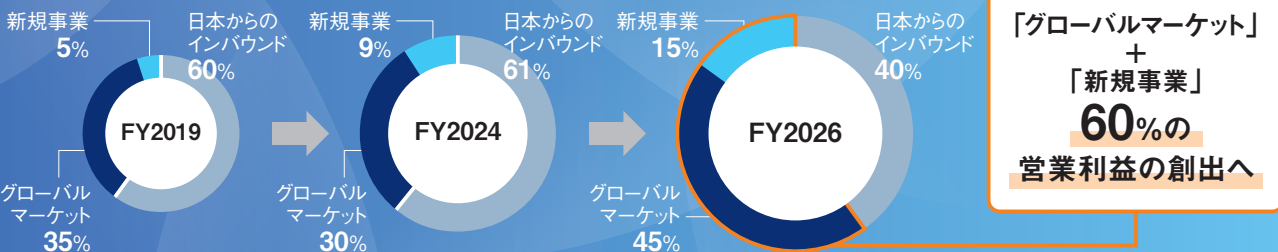
コア領域

新規領域

進出国数

57カ国 110都市 143拠点

海外事業における利益構造の推移



グローバルネットワークを活用した新規事業の推進

海外人材教育事業と日本への人材派遣

インドネシアなど労働人口が豊富な国において人材教育事業を開始しました。インターンシップ、留学、技能実習、特定技能実習の送り出し実績を持つ現地機関と連携し、日本語教育と観光業に特化した専門的なスキルを提供します。卒業後も日本での就労支援をサポートすることで、日本における労働人口の減少という社会課題に取り組むと同時に、日本企業とインドネシアの優秀な人材をつなぐ架け橋となることを目指しています。



インドネシアでの実績/目標

FY2024 10名 FY2025 50名

グローバルマーケットの強化・拡大

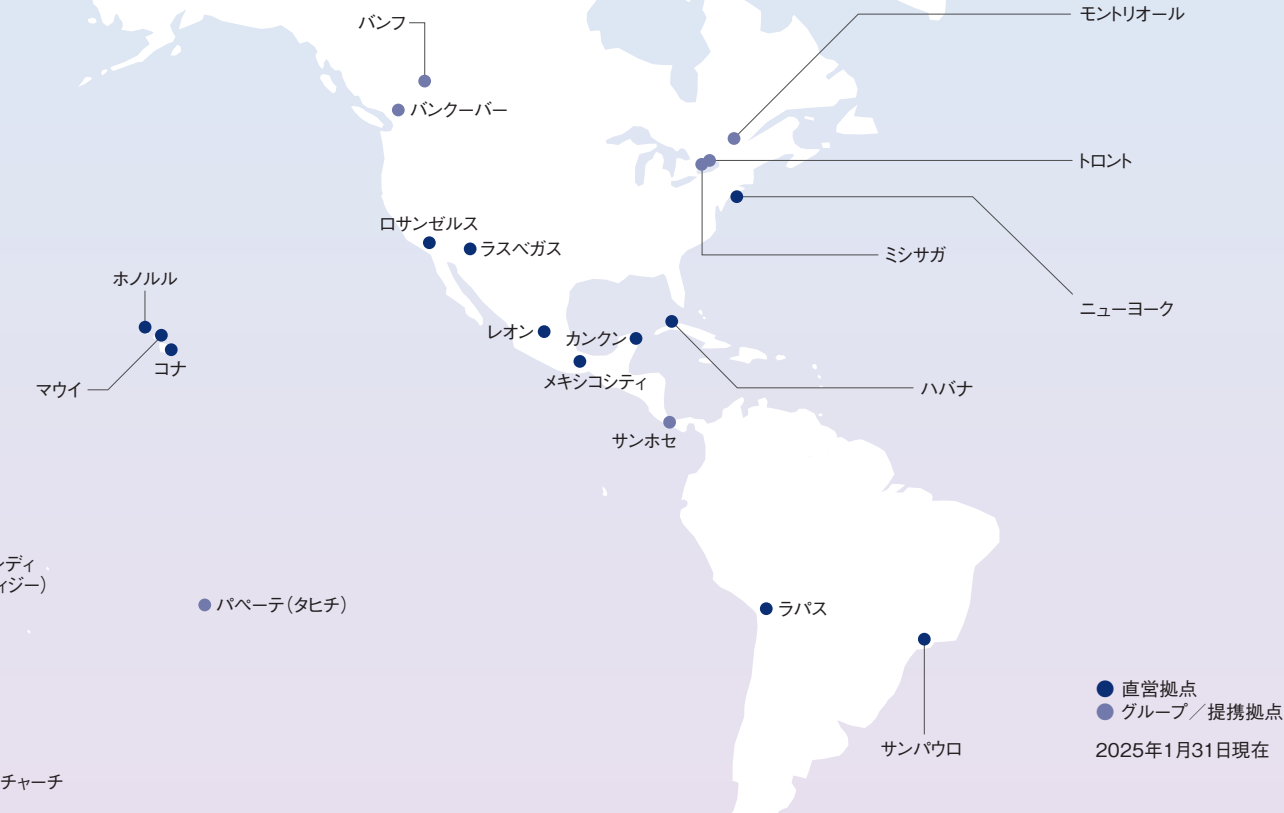
ローカルマーケットに特化したパートナーとの連携

ローカルマーケットに強いパートナーとの連携が海外における事業を牽引しています。今後もさらなるパートナー連携を促進し、グローバルネットワークの強化に取り組んでまいります。



商材の販路拡大

海外のプラットフォームとのAPI接続を推進することで、グローバルマーケットの販路を拡大してまいります。



新規デスティネーションの開拓

新たな旅先の観光マネジメント実施

新たな旅先との出会いを創造し、オーバーツーリズム対策(観光客の分散)や、現地雇用機会の創出(地域社会との共生)へ取り組んでまいります。

顧客視点での満足度向上 × 地域交流や地域活性化

南米拠点進出

2024年7月に設立されたHISボリビア法人では、旅行の予約手配に加え、将来は旅行サービスそのものを提供するサービスプロバイダの領域にも事業を拡大し、グローバルマーケットを対象に取り扱うDMC(地域サービスを提供する企業)としてボリビアの多彩な魅力を全世界の旅行者に届けていきます。 → 詳細はP.20



ボリビア ウユニ塩湖(イメージ)

アクションプラン ② 生涯顧客の創造 (LTV最大化)

コア領域

新規領域

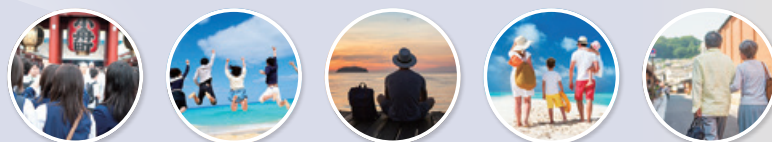
人生のあらゆるシーンで、「選ばれる企業」へ

「旅」という非日常のシーンだけにとどまらず、
お客様の生涯を通じ、日々の生活のさまざまなシーンにおいて、
HISグループの商品・サービスをご利用いただく接点を増やしていきます。

人生におけるさまざまな旅のシーンで

コア領域（旅行）

研修・修学旅行 学生旅行 一人旅 家族旅行 夫婦旅行



子ども 学生 社会人 結婚・子育て シニア



初めての旅 愛犬との旅 報奨旅行 ハネムーン 三世旅行 ユニバーサルツーリズム

提携カードをリブランディング「TAViCA」に

旅ナカの新しい優待サービスを追加し、旅カードとしての魅力を向上

オリコ提携カード「Skywalker Card」をリブランディングし、「TAViCA」としてカードデザインを一新し、旅ナカの優待サービスを新たに追加しました。旅行時の不安解消とお得に旅をするための“旅のお供になるカード”として、HISでの利用はもちろん、日常生活でも魅力を感じてもらえるサービスを実装しました。



優待サービス例

- ◆HISでお支払いいただくとポイントが5倍
- ◆海外旅行先での日本語リポート診療サービス
- ◆フライト遅延時の空港ラウンジ利用
- ◆ホノルルのLeaLeaローリー1日乗車券
- ◆HIS海外52拠点による旅ナカサポート
- ◆ENEOSでお支払いいただくとポイントが3倍

オリオンツアー



国内旅行の企画・販売を通じて十人百色の「夢・感動」「癒しやすさ」をお届けし、次にまた選ばれるサービスを提供しています。

クオリタ



ビジネス・ファーストクラスを利用した海外旅行、音楽鑑賞旅行、豪華列車で巡る国内旅行など、希少性が高い旅を提供しています。

ツアー・ウェーブ



日本各地の主要空港発着オリジナル・パッケージ商品を企画しています。

クルーズプラネット



個人旅行から添乗員同行ツアーまで取り扱うクルーズのリーディングカンパニー。カジュアル船から豪華客船まで、世界中の魅力的なクルーズを手配いたします。

欧州エクスプレス



36ヵ国29種類の海外鉄道バスを販売。ランドオペレーター事業は日本最大級。世界46ヵ国の手配が可能。その他、航空券ホールセール事業やホテル予約サイトの事業を展開しています。

HIS Canada Travel



HISカナダ法人、カナダを代表するツアーオペレーター会社「Jonview Canada」、オンラインに強い小売部門と卸売部門の二軸を持つカナダの旅行会社の「Red Label Vacations」が合併し、カナダにおける旅行事業を担っています。

Group Miki Holdings



欧州ならびにアジアにて50年以上事業展開するグローバルツアーオペレーターです。確かな仕入れと手配力で、高品質な旅を提供しています。

ジャパンホリデーラベル



中国市場をメインに訪日旅行事業にて成長し、近年では中国だけでなく、東アジア、東南アジアからの取り扱ひも増加しています。

エイチ・アイ・エス沖縄



着地型旅行の強化と旅ナカのインフラ投資などを行い、沖縄の魅力を広めることにより、お客様の満足度向上と地域社会への貢献を目指します。

HISホテルホールディングス



日本・米国・韓国など世界7つの国と地域にて、変なホテル・ウォーターマークホテルなど、現在13ブランド48ホテルを展開しています。

エイチ・エス損害保険

エイチ・エス損保

主力の旅行保険に加え、新たにペット保険市場へ参入し成長を続ける損害保険会社です。多様なリスクをカバーし、持続的な経営を行っています。

九州産業交通ホールディングス

九州産交グループ

バス事業を中心に、不動産賃貸業、観光業、飲食・物販業などさまざまな企業を傘下に持つ企業体。お客様のニーズと期待に寄り添い、地域とともに反映し、社会の発展に貢献するべく企業運営を行っています。

Merit Travel Group



スキーやクルーズ、ゴルフなどの個人向け旅行を展開するカナダの旅行会社です。

Cross Eホールディングス



ハウステンボス・技術センターと西日本エンジニアリングを傘下を持つ純粋持株会社。2024年8月、福岡証券取引所のQ-Boardに上場しました。

Blue Sky Education



バンクーバーのビジネスカレッジであるCanadian Collegeや医療系プログラムを主に扱う職業訓練校のStenberg Collegeなど、カナダの学校事業を統括しています。

グリーンオーシャン



農業と宿泊業に海外人材を紹介。地域の人手不足の解消に向け取り組んでいます。

エス・ワイ・エス



宿泊施設向けの宿泊直販予約システムや、宿泊施設内にある飲食、スパ、アクティビティなど、魅力的なコンテンツの直販とクロスセルを実現する直販予約システムを開発し、提供しています。

hapi-robo st



「人の能力を引き出し成長させる」ことで、人々を幸せにするというビジョンを持ったロボット会社です。

HIS Mobile



生活に欠かせない通信環境を、手軽に、身近にご利用いただける環境を整え、各種通信サービス・機器を提案しております。

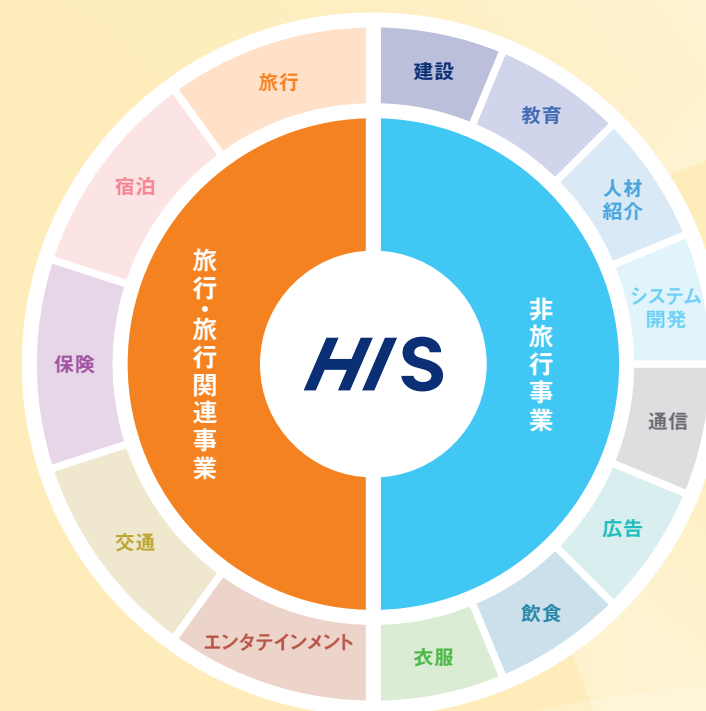
エイチ・アイ・エス デザイン アンド プラス



広告・プロモーション領域におけるサービスを提供しております。媒体仲介にとどまらず、クリエイティブ・デザインによる新たな価値提供をすべく事業展開を行っています。

日々の生活の中で

グループシナジー・新規領域



ラグーナテンボス



自然豊かな三河湾を望む、テーマパーク・お洒落な市場・ラグーナ フェスティバルマーケットなどさまざまな施設が揃う複合型マリニリゾート。

⇒ 詳細はP.31



日本の食文化を世界の人に広めることを目的にそば屋と海鮮バイキングを運営しています。



HISタイ法人は西松屋と協業し、ベビー服・子ども服を販売しています。



HISアメリカ法人がロサンゼルスにて経営する懷石レストラン「UKA」。ミシュランガイド カリフォルニア2024において「一つ星」を獲得しました。

…HISグループ会社一例

…ブランド一例

アクションプラン ③ 業務効率化・コスト構造改革

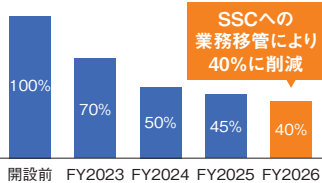
コア領域

グローバルでの取り組み

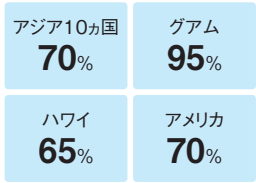
マニラシェアードサービスセンター(SSC)の拡大

SSCは、各国の予約手配業務を集約・移管するため、2017年12月に創設され、現在は海外法人20拠点、HIS本社6部署、グループ企業1社からの受託業務を担っています。また、ホテル営業・契約締結、販売価格の調整、予約・精算管理など一連のオペレーション業務と多岐にわたるサポートを実施し、さらに、日系企業へのセールsteam立ち上げなど移管業務の幅を拡大しております。

海外における予約手配業務量の推移



インバウンドオペレーション移管目標 (FY2026)



日本国内での取り組み

システムの開発と並行して、タスクフォースによる業務プロセスの見直しや、商材の最適化にも取り組んで、組織全体でDXを推進しています。

サービス向上につながる業務効率化

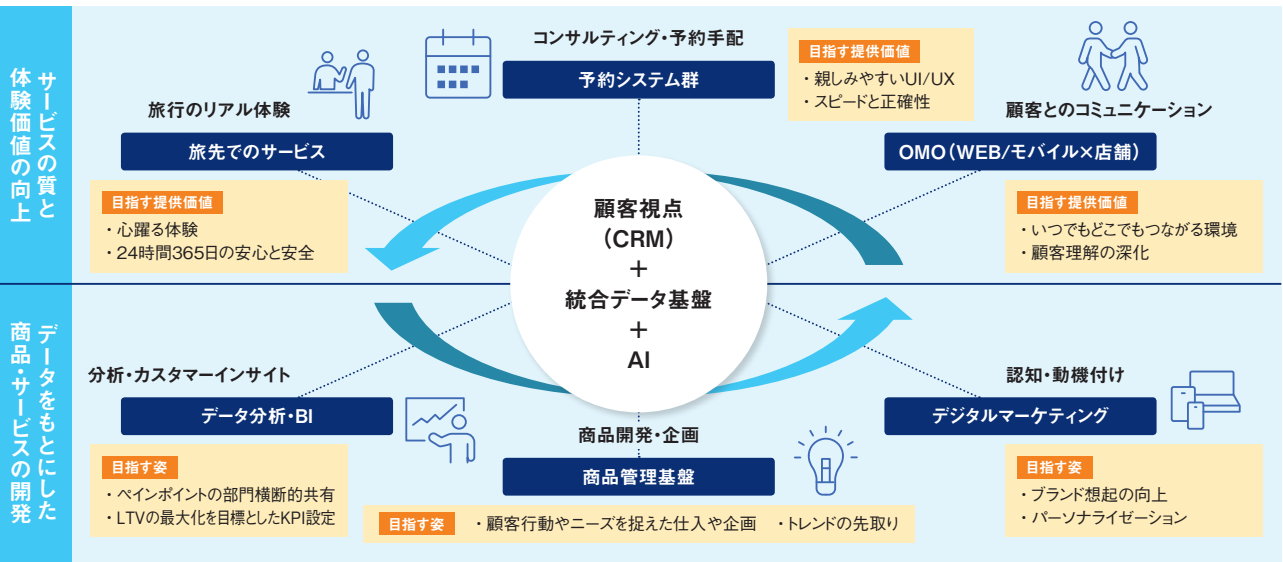
旅行コンサルタントの多岐にわたる登録・報告業務を見直し、簡素化することで、作業時間の短縮に取り組んでいます。また、お客様の利便性向上のため、決済作業の効率化も進めております。業務効率化による顧客ニーズに寄り添い、タッチポイントの創出によるサービスの向上に取り組んでいます。

旅行商品の最適化

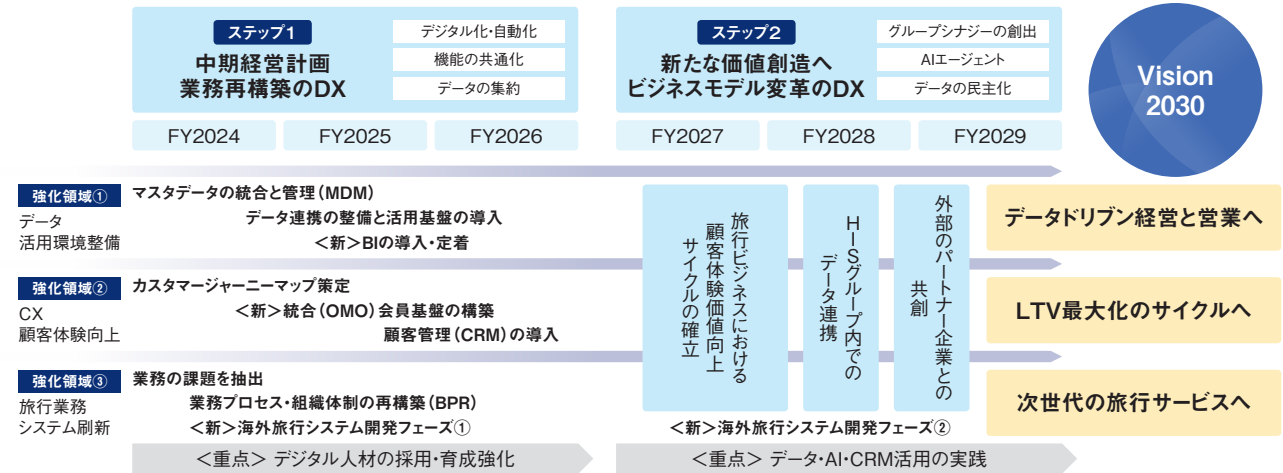
ツアーパンフレットやWEB掲載商品の閲覧・成約傾向のデータ検証を実施しています。現在膨大となっているツアー商品数の最適化を図ることで、お客様が選びやすい商品展開をするとともに、商品造成に係る業務効率化に取り組んでいます。この取り組みに連動し、ツアーブランドの再定義や広告戦略を見直し、より良い商品を分かりやすくお客様にお届けしてまいります。

アクションプラン②・③におけるDX推進

顧客視点のデータドリブン実現のための顧客体験価値向上サイクル(目指す姿)



中期経営計画の進捗と2030年までのロードマップ
データを活用した顧客体験価値向上への取り組み



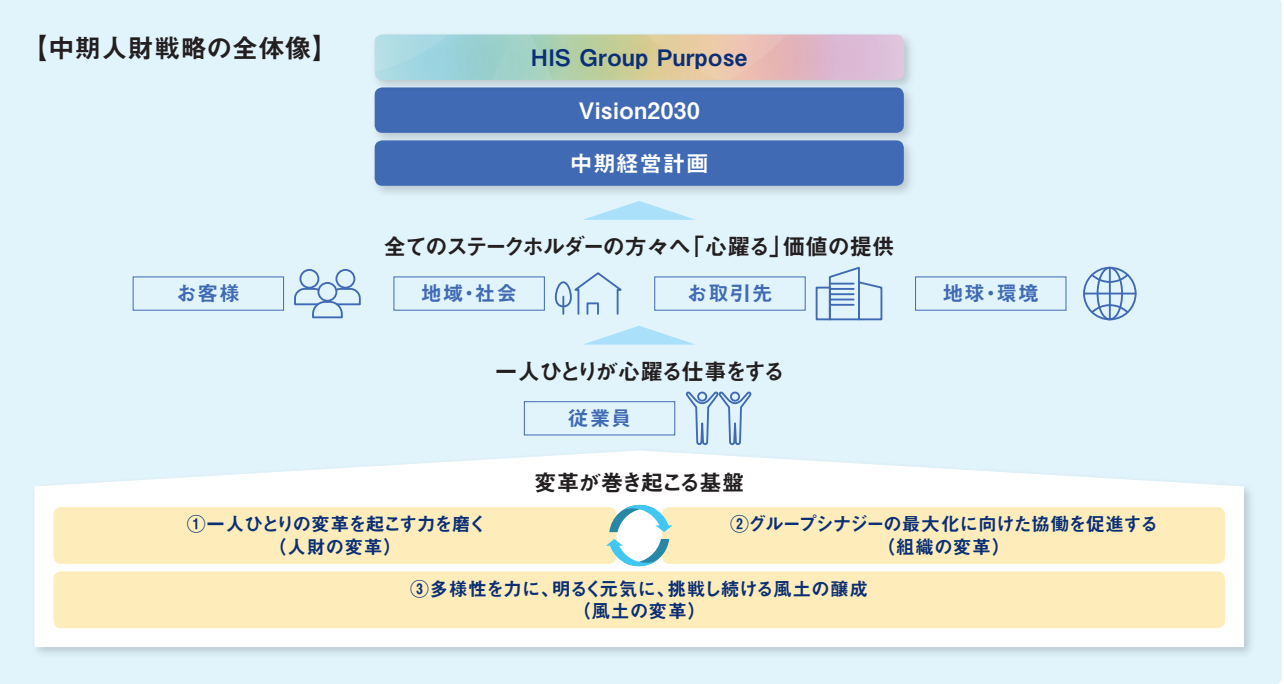
アクションプラン ⑥ 人財戦略(人的資本経営)

コア領域

新規領域

中期人財戦略では、「一人ひとりの“心躍る”を解き放ち、変革が巻き起こる基盤構築」に取り組んでいます。

従業員一人ひとりが働きがいを感じ、心躍る仕事ができること。そうした仕事の連続で、HISグループの変革、そして持続的成長を実現します。



FY2026 主要KPI

働きがい指数 社員満足度調査	「働きがいのある会社である」 全世界80%			変革指数 (人時生産性)	FY2023対比 1.6倍 (HIS単体)	
	FY2023実績	FY2024実績	FY2026目標			
働きがい指数	56.1%	65.1%	80.0%			
変革指数	1	1.24	1.6			

中期人財戦略における重点課題と個別戦略

重点課題	個別戦略	主な取り組み	主要KPI
経営スピードの加速	人財開発・採用	・変革期を主導するリーダーの育成 ・ITデジタル領域の採用および活躍支援	【HISグループ全体】 ・働きがい指数 社員満足度調査(全従業員対象) 「働きがいのある会社である」80% ・「HIS Group Philosophy」浸透度3.0 (5段階評価/社員満足度調査にて測定)
多様性の確保	DEIB推進	・女性活躍の推進 ・海外拠点における人財の活躍 ・多様性の尊重	
エンゲージメント向上	働き方改革	・健康経営の推進 ・多様な働き方の推進	【HIS単体】 ・変革指数(人時生産性) FY2023対比1.6倍 ・女性役員・管理職比率20% ・男性育児休業取得率80% ・外国籍マネージャー比率 65% ・有給休暇平均取得率75% ・健康診断 二次健診受診率70% ・ストレスチェック受診率70%
	フィロソフィー経営	・「HIS Group Philosophy」への共感と浸透	
	キャリア自律	・自律したキャリア形成と多様な成長機会の創出	

➡ 人的資本の具体的な取り組みについてはP.43に掲載

「新たなHIS JAPANの未来をつくる」



株式会社エイチ・アイ・エス
取締役

HIS JAPAN プレジデント

山野邊 淳

中期経営計画の2期目がスタートし、個人旅行、法人営業、訪日旅行、商材仕入、各地区本部を統括する新組織として「HIS JAPAN」を設立いたしました。

これまでは各事業が独立して、コロナ後のリカバリーや、新規事業領域への挑戦を進め、一定の成果を上げることができました。今後さらにHISグループが持続的に成長するためには、外部環境やマーケットの変化に対し、迅速で柔軟な経営資源の配分と、意思決定を行うことが重要であると考えました。

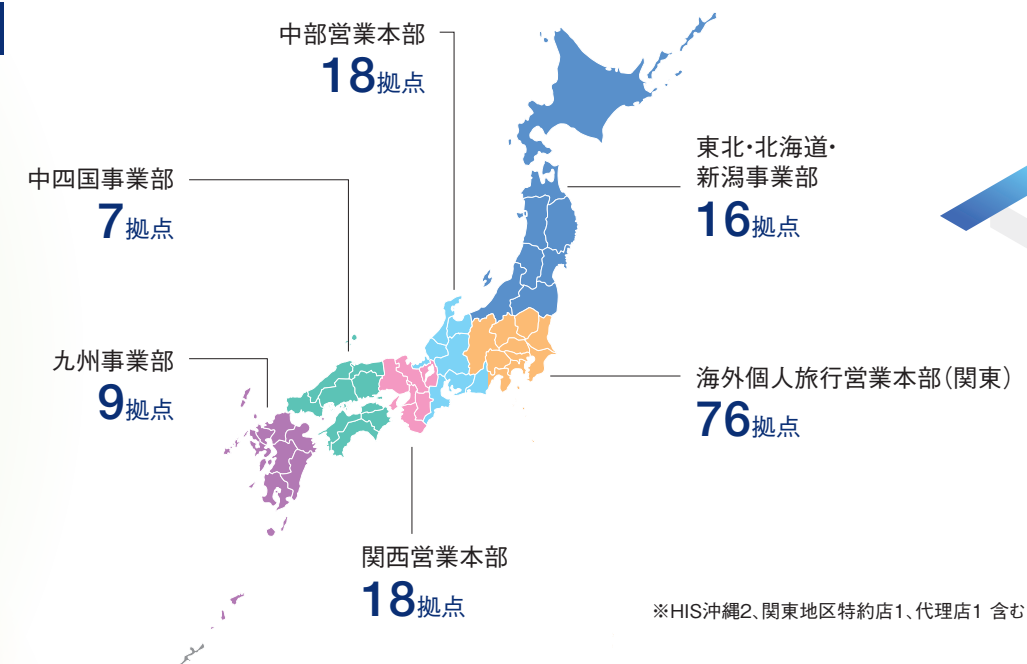
この改編により、事業を一体化させ、グループ全体最適の視点で成長を推進する基幹事業の組織として、さらなる変革・挑戦を進めてまいります。

営業利益の多くは個人旅行が占めておりますが、事業ポートフォリオの再構築をテーマに、各事業の収益性の改善、ソリューションセールスへの転換、地域創生事業への進出、訪日旅行事業の推進、新規事業開発など、事業ごとでは検討や実行ができなかった部分も積極的に推進していきたいと考えております。

日本国内拠点

148拠点

2024年10月31日時点



旗艦店「トラベルワンダーランド新宿」リニューアルオープン

コンセプト PLAY WORLD! 心躍る旅と、出会える場

テクノロジーの発展により人との接点が減るなか、旅行会社として、人とのコミュニケーションから生まれる予期せぬ出会いや偶然性、リアルならではの旅との出会いの体験を通して、旅に想いを馳せること、旅することの楽しさを世の中に発信していくことで、これからの時代に沿った「旅を主役とした店」となるよう、2024年6月にリニューアルオープンしました。HISと一緒に世界を楽しんでいくキッカケとなる場所として、お客様に価値を提供できる店を目指します。

1F

旅が好きな全てのお客様にとって、心躍る旅との出会いやワクワクする体験を提供



3F

専門性を求めるお客様に快適に旅の相談ができる環境を提供



- ◆Across No.1 Travel 【多言語対応】
- ◆スポーツイベントセクション 【スポーツ体験・観戦】
- ◆語学研修デスク 【語学留学】
- ◆エコツアーデスク 【自然体験・学び】
- ◆スタディツアーデスク 【ボランティア・文化体験】
- ◆世界一周旅行専門デスク 【世界一周】
- ◆海外航空券スペシャリストデスク 【海外発着】
- ◆ネイチャーワールド 【秘境・世界遺産】
- ◆ユニバーサルツーリズムデスク 【車いす・手話対応】
- ◆クオリタ新宿 【ビジネス・ファーストクラス】
- ◆音楽鑑賞デスク 【音楽鑑賞】

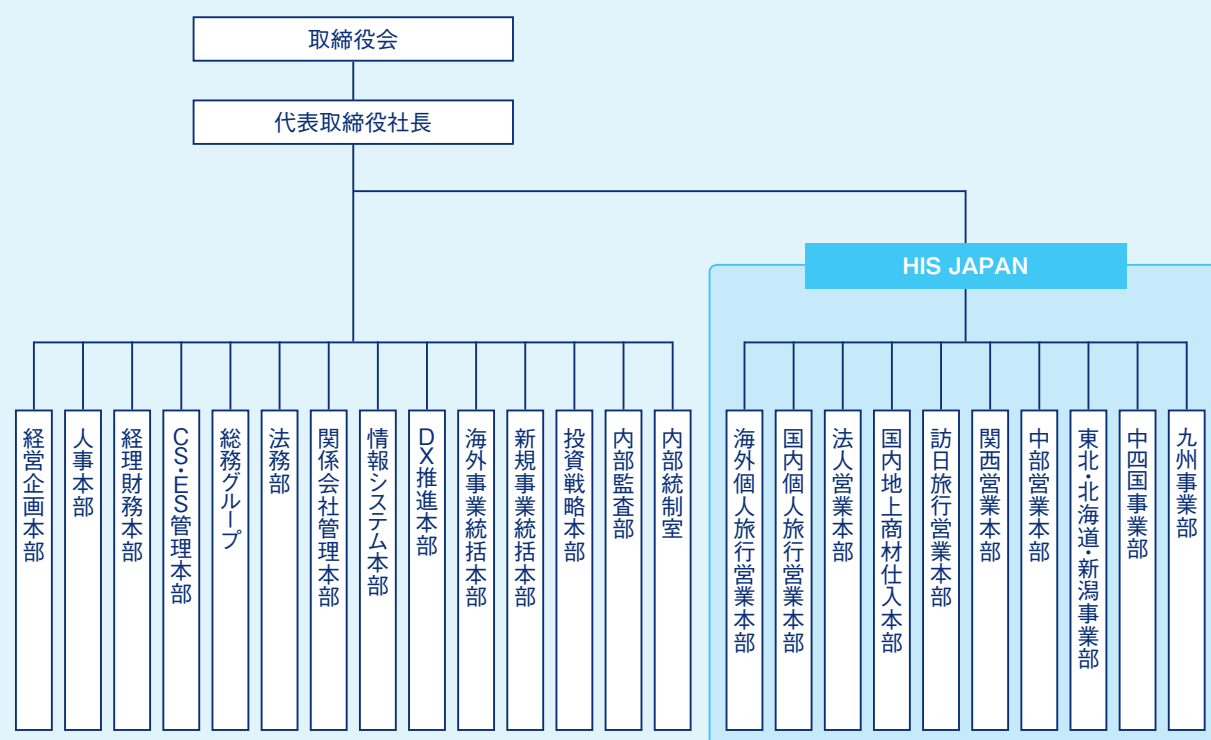
JCSI(日本版顧客満足度指数) 旅行業種「顧客満足」1位獲得

HISは、公益財団法人日本生産性本部サービス産業生産性協議会が発表した「2024年度JCSI(日本版顧客満足度指数)第2回調査」の旅行業種において、「顧客満足」1位の評価を獲得しました。また、顧客満足度および関連指標の計9指標のうち、特に経営目標に活用しやすい「顧客満足」「推奨意向(おすすめ度)」「感動指標」の3指標をはじめ、計5指標においてHISが1位を獲得しました。JCSI(日本版顧客満足度指数)調査は、サービス産業の生産性を測るうえで重要な「顧客満足」等を数値化・可視化し、企業や業種の成長に資する情報として用いることを目的とした日本最大級の顧客満足度調査で、30以上の業種・業態から約400の企業・ブランドを対象に実施しています。2024年度第2回調査では、旅行をはじめ、通信販売、エンタテインメント、フィットネス、銀行、ガス小売、QRコード決済、電子マネーの業種における調査結果が発表されました。



◆ 顧客満足 1位 ◆ 推奨意向 1位 ◆ 感動指標 1位 ◆ ロイヤリティ 1位 ◆ CSR指標 1位

経営体制・組織図



海外旅行

心が躍るような、特別な旅

未知の世界との出会い、初めての体験や、憧れを実現する夢のようなひととき。そこには胸を打たれる瞬間や新しい発見、忘れられない感動がきっとあるはず。あなたの心に刻まれるような特別な旅をHISならではのアイデアと交渉力で実現しました。



ペルー マチュピチュ遺跡(イメージ)

～心躍る旅～ 憧れの世界一周を叶える、人生一度の価値ある旅

ビジネスクラスで行く 世界一周25日間

HISがご提案する、誰もが憧れる世界一周旅行。心が躍るような、特別な旅をご用意いたしました。25日間の長旅も、ビジネスクラス利用で優雅に快適に。フランス・イギリス・エジプト・モロッコ・スペイン・ペルー・カナダ・アメリカの8ヵ国20都市、13の世界遺産をお客様満足度の評価の高い添乗員がご案内いたします。歴史、文化、自然を体感できる観光や各地の名物料理を含んだ内容充実の旅です。なお、HISではその他、たくさんの特別な旅をご用意しております。



「心躍る旅」特設ページ <https://www.his-j.com/theme/kokoroodoru/kanto.html>

ラクソン ニュージーランド首相がHISに来社 「旅パ」共同プロモーション開始

2024年6月18日、ニュージーランドのラクソン首相がHIS本社に来社され、ニュージーランド政府観光局、ニュージーランド航空、HISの3社によるニュージーランド共同プロモーションと、アウトバウンド促進を目的とした協力体制を進めていくことを確認しました。

一度の旅で、一生忘れることのない濃い体験と高い満足度が味わえる、旅パフォーマンス＝「旅パ」が抜群の国として、ニュージーランドのプロモーションを開始しました。



左から、ニュージーランド政府観光局 アジア地区担当ゼネラルマネージャー グレグ・ワッフルベーカー氏、ニュージーランド首相夫人 アマンダ・ラクソン氏、ニュージーランド首相 クリストファー・ラクソン氏、HIS代表取締役社長 矢田素史、ニュージーランド航空CEO グレグ・フォラン氏

<https://www.his-j.com/kaigai/oceania/newzealand/feature/tabipa/kanto.html>



海外航空券＋ホテルの新ブランド 「AirZ」開始

海外航空券とホテルを自由に組み合わせた「海外航空券＋ホテル（募集型企画旅行ダイナミックパッケージまたは手配旅行での同時購入）」の新ブランドとして、「AirZ」（エアーズ）を、2024年12月より開始しました。

「AirZ」は予約時に空席のある航空券、空室のあるホテルを自由に組み合わせることで、その場で予約を確定することができます。代金は変動制でリアルタイムに変わりますが、オンラインでも24時間予約することが可能です。

AirZのポイント

- 取り扱う航空会社は400社以上、ホテルは約7万軒
- 送迎やアクティビティ・保険まで、旅にまつわる手配を一元で管理
- 滞在中は24時間いつでも日本語でサポート

海外航空券＋ホテルと従来のパッケージツアーの区分けを明確にし、お客様の旅の選択肢を増やすことで、よりご希望に近いご旅行の提案を目指します。

<https://www.his-j.com/kaigai/air-hotel/feature/kanto.html>



国内旅行

ニッポンを駆け巡ろう！国内旅行もHIS

ご出発前、ご旅行中も安心して便利にご旅行をお楽しみいただけるよう、HISでは各種サービスをご用意しております。



国内の高速バス・夜行バスの 取り扱い開始

HISは、旅行予約サイトにおいて、日本全国の高速バス・夜行バスの取り扱いを開始いたしました。

これまでHISの旅行予約サイトでは、国内旅行は、ツアー、航空券、宿、アクティビティ、レンタカーなどを提供していましたが、新たに、日本全国の高速バス・夜行バスの取り扱いを開始。全国約120路線・550便以上のプランを、最短で出発45分前までオンライン予約購入が可能となりました。



<https://highway-bus.his-j.com/>

PRゴールドパートナーとして協賛 大阪・関西万博ツアー発売

HISでは、2025年4月13日より大阪 夢洲で開催される「2025年日本国際博覧会（以下、大阪・関西万博）」の入場券が付いたツアーを発売しています。

また、HISは大阪・関西万博 PR ゴールドパートナーとして協賛しています。日本各地域の方がより大阪・関西万博に足を運びやすい環境を造成するとともに、大阪・関西万博の魅力を伝えていきたいと考えております。

北海道HISオリジナル 日帰り観光バス運行

HISは、2024年5月25日～9月30日の期間限定で、北海道にて人気の観光地を巡るHISオリジナルの日帰り観光バスを、旭山動物園・美瑛・富良野ルートとウポポイ・洞爺湖ルートの2コース設定し運行しました。

また、新千歳空港到着ロビーにHIS北海道コンシェルジュ（相談カウンター）を期間限定で設置。現地情報のご案内、お得なクーポン配布など、お客様の北海道滞在をサポートいたしました。



北海道・中富良野町 初夏の花畑(ファーム富田)の風景

Pick Up 第5回「HIS海外旅行大感謝祭」開催

“見る・聴く・食べる・体験する”を通して、楽しみながら旅の魅力を再発見していただくことを目的とし、第5回「HIS 海外旅行大感謝祭」を2025年3月8日・9日の2日間開催し、延べ約1.1万人の方にご参加いただきました。各国の最新情報を旅のプロがお伝えする全14テーマのステージイベントをはじめ、各国のブースではさまざまな催しが行われ、世界の食事が楽しめるキッチンカーも登場しました。

また、令和6年能登半島地震の復興支援のチャリティイベントとして、室内でのLEDランタンの打ち上げ体験を実施し、売上金額の一部を「石川県令和6年能登半島地震災害義援金」へ寄付いたしました。



Pick Up まだ知られていない日本の観光地の魅力を発信 第2回観光カードグランプリ結果発表

日本にある、まだまだ知られていない観光地を多くの方に知っていただき、旅先の選択肢を増やしていただくことを目的として、自治体、施設などが観光地の魅力を紹介する「観光カード」を使い、持ち帰り枚数で潜在的な人気観光地を発見する第2回観光カードグランプリを2024年8月8日～29日に実施いたしました。結果発表と上位入賞の表彰式は、東京ビッグサイトで開催された「ツーリズムEXPOジャパン2024」HISブースにて実施しました。



受賞された自治体の皆様

<https://kcgp.jp/>



訪日旅行

魅力ある日本を体験いただき地域活性化の一助に

おもてなしの心を世界中の人々へ届けるために、次の10年を見据えた訪日旅行の形をご提案。

多様な文化に対応した訪日サービスの提供と海外市場へのアプローチ

グローバルネットワークを駆使し、多様なニーズに対応する訪日旅行を促進しています。

ムスリムのお客様にはハラール認証取得レストランや礼拝スペースのご案内、ベジタリアン・ヴィーガンのお客様向けの食事手配など、お客様のご要望に柔軟に対応しています。

HIS海外法人とローカルエージェントの連携強化を図り、訪日商材の営業、旅行博出展などを通じて、海外での関係性の強化と、各マーケットの知見を活かし、お客様一人ひとりに最適な旅行体験を提供することで、訪日インバウンドのさらなる成長に貢献してまいります。



シンガポール最大級の旅行博「NATAS」に出展

旅ナカ(観光案内所)の強化

観光案内所は、訪日外国人旅行者にとって重要な情報提供の拠点であり、地域の魅力を発信する役割を担っています。多言語対応の強化やデジタル技術の活用を推進し、リアルタイムでの情報提供や予約サービスの充実を図っています。

また、地域特有の体験型コンテンツや文化交流の場を提供することで、旅行者の満足度を高めるとともに、地域と旅行者をつなぐハブとしての役割を果たし、地域経済の活性化にも貢献しています。



原宿での接客の様子

- ・原宿ツーリストインフォメーションセンター
- ・京都ツーリストインフォメーションセンター

地方自治体と連携し、ツアー造成やプロモーションに注力

地方自治体や企業との連携を通じ、あらゆる国籍・地域のお客様に、日本の魅力を存分に体験していただける訪日旅行商品を企画・販売しています。

2024年8月には静岡県熱海市と協定を締結し、台湾からの観光客誘致を強化。また、タイでの旅行博出展など、海外市場へのプロモーションも積極的に展開中です。

私たちは、地域とともに多様で特別な旅行体験を創出し、訪日インバウンド市場のさらなる活性化と地域社会への貢献に取り組んでいます。



熱海市とのインバウンド観光推進協定締結

多様な文化に対応する独自商品の開発

多くのお客様にご参加いただいている「Hiroshima and Miyajima 1 Day Bus Tour」では、さまざまな食文化に配慮したランチを提供しております。

宗教や食文化の違いによる食事制限の多いインドからのお客様をターゲットとした、インドカレーのランチ付の商品も好評を得ており、インド人以外のお客様にもご参加いただいております。



多国籍のお客様を広島市内にご案内

Pick Up 地域の魅力を発掘!訪日外国人向けユニークな体験型ツアーのご提案

HISでは、地域独自の文化や自然を体験できるオリジナルコンテンツを開発し、新たな旅のスタイルを提案しています。

東北地方では、蔵王キツネ村と銀山温泉を巡る日帰りバスツアー、中部地方では、世界遺産・白川郷のライトアップを鑑賞するツアーをご用意しました。

今後も、地域の魅力を発掘し、お客様の好奇心を刺激するユニークな体験を提供することで、訪日インバウンド市場の活性化に貢献してまいります。



訪日外国人が銀山温泉を訪れている様子

海外の旅行事業

地域ごとのニーズに合わせた事業展開、新しい需要・トレンドの創出に取り組み続けます。

タイ・ベトナム EVで巡る、サステナブルツーリズム

HISタイ法人、ベトナム法人では、環境に優しい電動車両を利用した、現地発着型観光ツアーを催行しております。EVトゥクトゥクを利用したバンコク都内を周遊するツアーは、すでに年間500名以上のお客様にご参加いただいております。ベトナムではEVバギーを利用したツアーを新たに販売し、100名以上のお客様にご参加いただきました。引き続き、旅行者の皆様に環境への配慮を意識していただけるような取り組みを続け、アジア全体で持続可能なツーリズムの実現を目指してまいります。



EVトゥクトゥク

EVバギー

アメリカ 未来のモビリティを活用した新しい旅への挑戦

北米シリコンバレーのプロジェクト拠点では、MaaS関連の最先端技術やAIを活用した旅行サービスなど、旅行との親和性が高い分野を中心に注視し、なかでも、新しい旅のカたち、未来の移動手段である「電動モビリティ」としてeVTOLの運航実現に向けた事業に参画しています。eVTOLは従来の移動手段よりも環境負荷が低く、CO₂排出量を大幅に削減できるなど、環境性、静音性、利便性、コスト面で優れており、自立飛行、垂直離着陸が可能、より日常的で、近距離の移動ニーズにマッチした特徴を備えています。現在は、日本国内での社会実装の早期実現を目指し、他社との協業により、事業性検証を実施しています。2024年9月には「ツーリズムEXPOジャパン」にて実現可能な未来の旅のカたちとしてeVTOLの紹介を行いました。2027年には国内にて短距離飛行商品の販売と、将来的にはeVTOLを活用した新たな旅行商品を開発し、観光産業の活性化や地域社会への貢献を目指します。



空飛ぶクルマ(イメージ)
写真提供: 丸紅株式会社

フィリピン HIS SPECTATOR TOUR バスケットボールリーグコラボレーション



バスケットボールリーグ(イメージ)

試合観戦ツアー

HISフィリピン法人は新たな訪日需要を開拓するため、日本の男子プロバスケットボールリーグとコラボレーションし、フィリピン人選手が所属するチームの試合観戦ツアーを催行しました。コート前特別席での観戦や試合後の選手との交流に加え、試合会場である広島県の観光やご当地グルメであるお好み焼き調理体験を通して、フィリピンのバスケットボールファンに日本の魅力を届けました。また、2024年9月には、フィリピン三越BGCで行われたプロモーションイベントに際し、オールスターゲームの観戦ツアーを販売しました。今後もフィリピン国内において、男子プロバスケットボールリーグに関するイベントなどへの協力をを行い、観戦ツアーをきっかけに日本の地方の魅力を発信していく予定です。

ボリビア ボリビアに新規拠点をオープン

2024年7月に新規デスティネーションの開拓を目的として、HISボリビア法人ラパス支店が新たにオープンしました。アメリカ、メキシコ、ブラジルからのお客様、日本から南米周遊をされるお客様をターゲットに、世界の絶景の一つであるウユニ塩湖のツアー商品をメインとして、ガイド、送迎、ホテルの手配、さらにボリビア国内線の手配などを行っております。今後は、南米にとどまらず、アジアからのグローバルな受客を目指していきます。



HISボリビア法人

ウユニ塩湖 天空の鏡(イメージ)

カナダ TravelBrands エージェントチョイスアワード受賞

TravelBrands(H.I.S. Canada Travel Inc.が保有する複数の旅行ブランドの総称)は、カナダ国内のトラベルアドバイザー6,938名の投票により優秀な旅行会社を決定する2024 Agents' Choice Awards Galaにおいて、「Favourite Tour Operator FIT」「Favourite Tour Operator -Niche」「Favourite Air Consolidator」「Favourite Supplier Representatives」の4部門を受賞しました。2024年6月20日にトロントのThe Carluにて開催された授賞式には、H.I.S. Canada Travel Inc.より関係者12名が出席しました。会社への信頼と最先端のテクノロジー、そして特別な旅行体験の創造に専念するチームの努力が複数のカテゴリーにおいて高い評価を得た要因となりました。



H.I.S. Canada Travel Inc.
エグゼクティブメンバーおよびスタッフ

Beyond Travel

旅行はひとつの選択肢

HISが誇る“心動かす力”で、お客様の課題解決に伴走します。

未来を共創するビジネスパートナー

法人・企業

HIS法人営業本部は、企業の課題解決に、パートナーとして、旅行会社の枠を超えた、最適解決策のご提案をすることを目指しています。

企業イベント (MICE)

企業が実施するさまざまなイベント・会議等の企画運営を、ビジネス課題解決の観点からサポートします。
社員旅行・入社式・内定式・部門長会議のほか、インセンティブ・海外研修・周年事業など多様なソリューションを展開しています。

インセンティブ

従業員のエンゲージメント向上などを目的としたインセンティブプログラムの企画運営を行います。
表彰式や報奨旅行などのイベントのほか、賞品授与やプログラム全体の企画設計にも携わり、“従業員の名誉”を刺激する体験を創出することで、企業の成長に貢献します。



イメージ

海外研修

企業の人事戦略理解に立脚した海外研修プログラムの企画運営を行います。
従業員の感性を磨き体験学習の修得に効果的な海外研修には、その企業の人事戦略理解が欠かせません。私たちは、研修の目的と実現を繋ぎ合わせます。
全世界全都市から最も適する行き先を探索し、研修内容とあわせてご提案し、企業の未来を創る“人”の研鑽を支援します。



イメージ

周年事業

企業の歴史を振り返り未来像を共有する周年イベントの企画運営を行います。
“50周年”“100周年”などの節目の年は、ステークホルダーが一堂に会する絶好の機会です。私たちは、企業の歩んできた道程と未来のビジョンを徹底的に理解し、ステークホルダーの心に響くイベントを演出することで、企業の次の一歩を後押しします。



イメージ

出張管理・BTM (ビジネストラベルマネジメント)

出張経費削減やガバナンス強化を、出張者にとっての快適さを損なわずに実現します。出張の管理全体を見直すことで経費を最適化し、不正防止や危機管理の観点におけるガバナンスを強化できます。その際、出張の快適さを尊重し、個々の出張を点で見るのではなく全体を面的に管理することで出張者からの不満を抑制し、管理体制の浸透を図ります。



イメージ

BPO・BENEFIT事業

企業が実施するキャンペーン・会員組織向け事務局などの企画運営を行います。

懸賞旅行

“旅”と“ブランド”のシナジーによって投資対効果の高い懸賞旅行の企画運営を行います。企業がプロモーション目的で実施する懸賞旅行を単なるプレゼントで終わらせず、ブランド体験を想起させるキャンペーンに昇華させることで、旅が持つ魅力とブランドの世界観を近接させます。



イメージ

消費者キャンペーン・事務局運営

企業が実施する消費者や会員組織に対するキャンペーンの企画運営を行います。キャンペーン実施の目的に即した多角的な提案を行い、豊富な実績と洗練されたホスピタリティによって利用満足度の高い事務局運営まで一気通貫で担うことで、顧客ロイヤリティの向上に貢献します。



イメージ

福利厚生

従業員や会員の福利厚生となる、旅行優待や永年勤続、インセンティブ旅行などの企画や運営を行います。オリジナル福利厚生パッケージサービス『リーヴェ』では健康診断結果データの一元管理や、スキルアップのためのeラーニング、人気飲食店・レジャー施設などの優待割引のほか、さまざまなサービスをご用意しております。

リーヴェ
Live
produced by HIS

Hcross

人事実務の「オープンイノベーションプラットフォーム」となることをビジョンに掲げ、企業間の知識共有を促進し、新たな価値を創造する場として機能することで、企業の人事部門がより効率的かつ効果的に機能することをサポートし、業界全体の発展に寄与していきます。



地域の力で 日本を元気に

官公庁・自治体

中央省庁や地方自治体が実施する事業を受託し、
地域活性化などの社会課題解決に貢献します。

地域ブランディング

自治体が行う地域振興や地域活性化のための活動を支援します。
地域が持つ特性や魅力を最大限に活かし、特産品や観光資源などのプロ
モーションを基軸に、国内外の観光客の誘致や地場産業の新興による地
域経済や社会の活性化施策の企画運営を行います。
HISの国内店舗・グローバルネットワークを活用し、高付加価値コンテンツ
の造成・レップ活動・SNS等によるプロモーションなど豊富なソリューション
で、自治体における社会課題解決をサポートします。



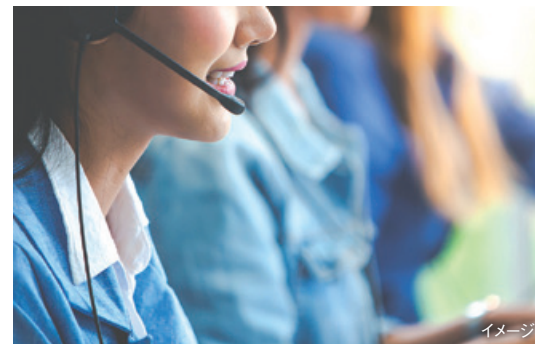
イベント・会議運営

官公庁や自治体の実施する国内外のイベント・会議・シン
ポジウム・商談会等の企画運営を行います。
移動や宿泊の手配にとどまらず、企画から実施運営ま
で一気通貫した豊富な実績とソリューションで、施策効果を
最大化させます。



事務局運営

官公庁や自治体の実施する支援金・給付金などの申請
事務局の企画運営を行います。
事業実施の根底にある解決すべき社会課題を踏まえて
企画を行い、豊富な接遇経験と事務局運営実績をもとに
催行することで、行政施策としての効果を最大限に引き出
します。



地域創生事業

HISグループの経営資源を活用した新たな地域創生

旅行事業のノウハウと国内外のネットワークのみならず、ホテル事業、テーマパーク事業、地域創生事業などで培った知見とHISグループの
経営資源を活かし、地域が抱えるさまざまな課題に対して一過性ではない持続的な課題解決を目指しつつ、地域の「稼ぐ力」の創出に取り組
みます。

日本の古き良きコンテンツを再発掘し、地域の文化・環境を活かした事業でリブランディングすることで潜在的な価値を引き上げ、新たなビジ
ネスモデルの創出と地域の活性化を目指します。

同じ志を持つパートナー企業とも協働し、新たな事業領域に挑戦することで、地域創生事業の可能性を広げます。



Destination Create Project ～新・目的地創造事業～

地方創生に特化した伴走型の事業プロデュース会社「さとゆめ」との共同プロジェクトを通じて、地域活性化の新たなムーブメントを生み出し
てまいります。昨今、インバウンドの復活による有名観光地での「オーバーツーリズム」が表面化し課題とされる中で、既存の観光地への誘客
やマネジメントだけではなく、これまで観光地とされていなかったような地域も含め、「新しい目的地」を全国につくっていくことを目指します。

指定管理事業

旅行業で培ったノウハウと地域の特性を活かした地域貢献

地方自治体が所有する公共施設の運営・管理を民間企業や団体に委託する「指定管理事業」に取り組んでおります。観光施設や宿泊施
設の運営において、独自のマーケティング戦略やプロモーション活動を展開し、地域の観光資源を最大限に活用することで、地域経済の活
性化に寄与しています。また、施設の運営においては、効率的な管理体制を構築し、コスト削減やサービスの向上を実現することを目指すとし
ともに、地域の特性やニーズに応じた多種多様なイベントを開催することで、地域住民や観光客に愛される魅力的な施設づくりを推進し、地域
の観光振興や文化の発展に貢献しています。



秋田県由利本荘市「ぼろっこ」(温泉宿泊施設)



岐阜県美濃加茂市「ぎふ清流里山公園」

HISの指定管理事業は、単なる施設運営にとどまらず、地域全体の観光振興や経済活性化を視野に入れ、地域社会との共生を図りながら、
持続可能な地域づくりに貢献しています。

学生の成長を 予感できる 成功体験の創出

学校・教育機関

教育機関が行う校外教育プログラムを中心に支援し、学校の発展に貢献します。

修学旅行や研修旅行にとどまらず、あらゆる学習シーンで生徒・学生の成長を予感させる成功体験を生み出します。

修学旅行

急速な社会の変化に対応すべく、生徒・学生の思考力・判断力・表現力を磨く探求型・アクティブラーニング型の旅行を提案します。修学旅行を単体のイベントと捉えるのではなく、学校の教育方針や事前事後の学習プログラムとの関連付けを重視した包括的な企画運営を行い、学習体験の向上に貢献します。



イメージ

キャリア支援

グローバル人材育成の観点から、海外インターンシップや職業体験のキャリアプログラムを提案します。

海外インターンシップでは、グローバルネットワークを活用し、HISの海外拠点だけでなく現地の他業種の企業への派遣も担い、生徒・学生が社会で働くためのスキル・マインドの創出に貢献します。



イメージ

留学・語学研修

留学プログラムの包括的な企画運営を行い、学校の負担を軽減したうえでより効果的な留学・研修体験を生み出します。

学校の教育方針や目的、生徒・学生の傾向を把握したうえで、豊富な実績とグローバルネットワークを活用し、安心して効果的な留学プログラムを支援します。目的に応じて国内留学や、留学先との連携や申込管理などを含めた包括管理を請け負うなど豊富なソリューションでサポートします。



イメージ

その他

スポーツ事業

世界を目指すアスリート・チームを全力で支援し、それを支えるファン・企業に「感動」を届けます。

スポーツを「観る」「する」「支える」を軸として、スポーツをもっと身近なものに感じていただけるようアスリートの遠征支援や観戦ツアーの提供を行っています。

今後もスポーツホスピタリティや大会事務局業務など、スポーツに寄り添うパートナーとして「感動」を届けられるよう、挑戦し続けていきます。

一般のお客様向け

【スポーツ観戦・体験ツアー】

海外マラソン・欧州サッカー観戦ツアーなど、スポーツに興味のある方のためのスポーツ旅行をご提案しています。専門知識豊富なスタッフがご案内いたします。

【スポーツホスピタリティ】

海外スポーツツアーにおいて、通常の観戦に加え、海外選手との面会やスタジアムバックヤード見学など高付加価値の付いたアクティビティを提供し、スポーツコンテンツの価値を最大化できるようご提案いたします。



イメージ

スポーツ競技団体向け

【アスリート遠征・合宿・チーム・スポーツ団体サポート】

スポーツ協会をはじめ、選手・チームに安心・安全、そしてスピードを意識した手配をしています。

強みであるフットワークを活かし、競技に携わる全ての皆様のサポートをし続けていきます。

【国際大会 事務局運営】

国内で開催されるスポーツ大会における事務局運営、選手・関係者の方々の宿泊・移動・食事から、チケット販売・ホスピタリティ企画まで、スポーツ大会のトータルコーディネートを行っています。

FOOD事業

旅行事業で培ったHISのリソースを二次活用して、食をテーマに「モノ」や「事業」を世界へ届けることで、人と地域に活力を与え、世界中を活性化させることを目指しています。

主な取り組みとして、お茶や米など質の高い日本産品の輸出販売や、日本の飲食ブランドのパートナーとして国内外のフランチャイズによる事業拡大のサポートをしています。



イメージ



イメージ

ホテルを基点とした旅の楽しさ、 ビジネスシーンでの利便性を実現

「繋がる」「快適」「先進的」「遊び心」「生産性」の5つをコアバリューに掲げ追求、生産性／効率性を掛け合わせ、お客様へよりリーズナブルに、より人生のスパイスとなるような楽しい体験を提供していきます。
HISホテルホールディングスでは現在7つの国・地域に13ブランド48施設を展開しています。



変なホテル



変なホテルのポリシーは「変わり続けることを約束するホテル」。既成概念や型にとらわれず、「変」を追求し続けます。世界初のロボットが働くホテルとしてギネス世界記録®に認定されました。2024年より変なホテルのブランドを細分化し、最上位ブランドとして「変なホテルプレミア」を新設し、「変なホテル」、「変なホテルエクスプレス」の3ブランドでの展開を開始しました。

変なリゾート&スパ



変なホテルのマルチブランド戦略の中で温浴施設を付帯し、リゾートエリアに立地するホテルを「変なリゾート&スパ」として展開することとし、第1号店として「変なリゾート&スパ 関西空港」を2024年11月にリブランドオープンしました。

ウォーターマークホテル

世界中のお客様からご利用いただくリゾートホテル。沖縄県宮古島、インドネシアバリ島に2施設を展開。



VISON HOTELS 旅籠



日本最大級の商業施設VISON[ヴィン]のオフィシャルホテル。一棟独立型のヴィラ6棟、全155室のホテル棟からなる「HOTEL VISON(ホテルヴィン)」、趣向の異なる4棟40室の「旅籠ヴィン」で構成されます。

グアムリーフホテル

グアムの中心タモン地区に立地するビーチフロントのリゾートホテル。日本語スタッフ常駐。



ホテルインスピラ-S タシケント

本格的なスパ・大型レストラン・会議室も備えた全140室の4つ星ホテル。



グリーンワールドホテル

台北市内に13ホテルを展開する台湾最大級ホテルチェーン。全ホテルで日本語対応可能。



カッパドキア マリオット ホテル

2つのレストラン、プール、スパ、大型バンケットルームなどを有する一大リゾートホテル、全295室。



2024年、ロビー・フロント・客室・大浴場など大型リノベーションを実施、スイートルームなども新設

満天ノ 辻のや

天然温泉、会席料理、庭園散策をお楽しみいただける、石川県栗津温泉の純和風温泉旅館。2024年秋、全館改修工事が終了。

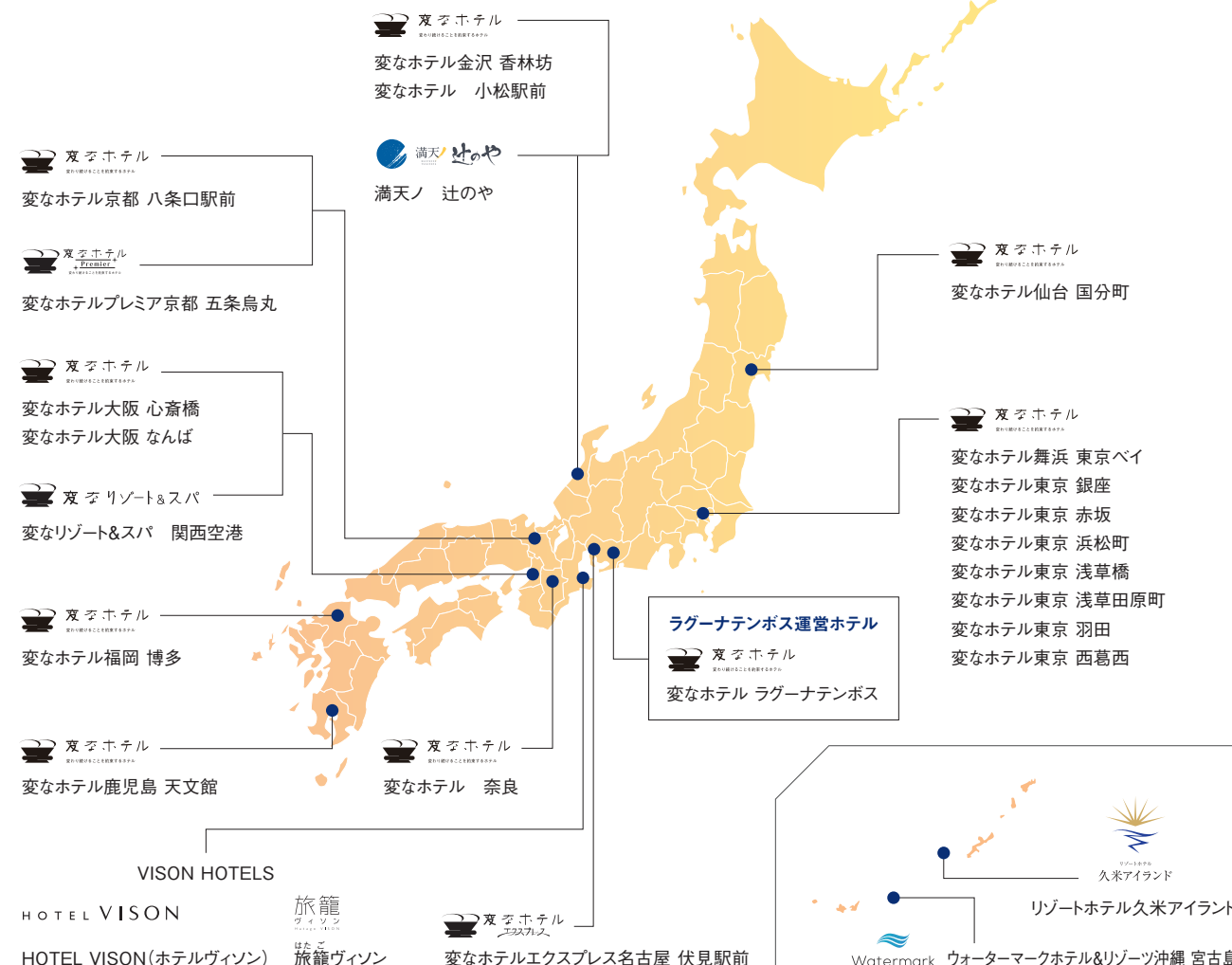


リゾートホテル久米アイランド

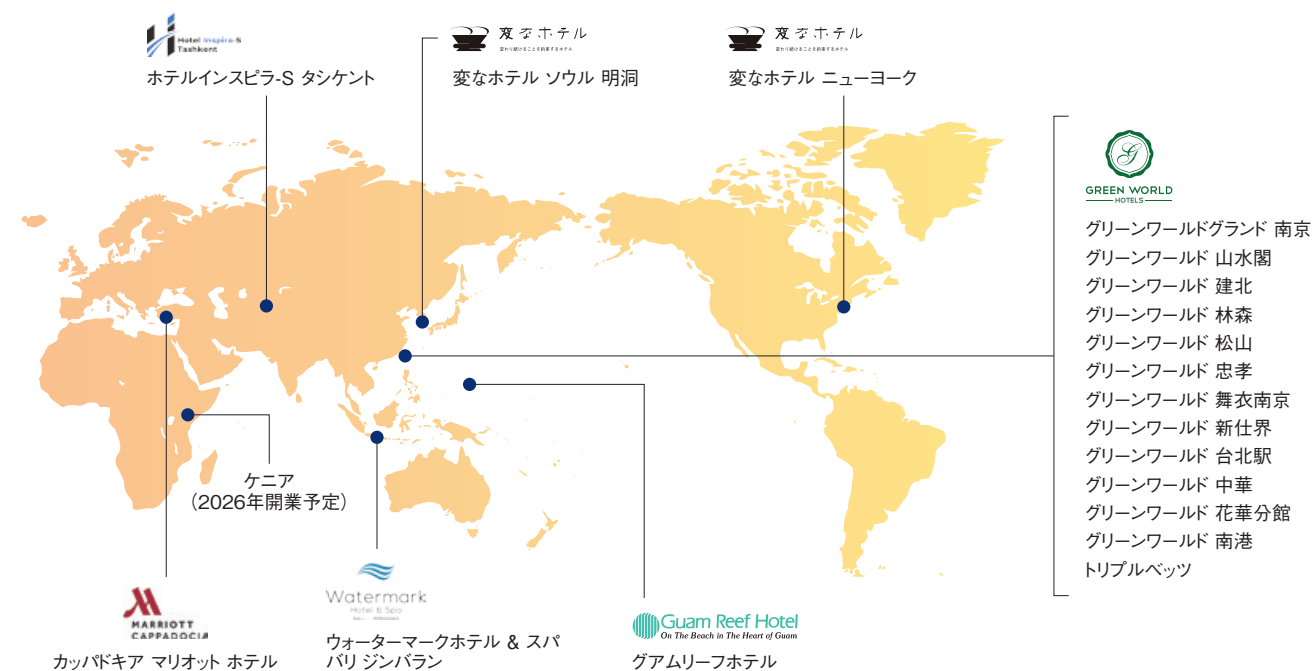
スイートルームなど全142室、沖縄県久米島最大のリゾート。2024年夏、大型改修工事が終了。



国内ホテルラインナップ



海外ホテルラインナップ



熊本に貢献する企業を目指し、
皆様のニーズと期待におこたえます。



SAKURA MACHI Kumamoto

九州産業交通ホールディングス株式会社

九州産交グループ

企業理念

顧客本位のサービスを提供することにより、
地域とともに繁栄し、社会の発展に貢献する。

企業ビジョン

サービスをもって社会と顧客のニーズ・期待にこたえ、
持続的に発展する九州のリーディングカンパニーを目指します。

九州産業交通ホールディングス株式会社

阿蘇くまもと空港内に「九州産交バスカウンター」をオープン ～熊本の空の玄関口で熊本の旅をサポート～

2024年12月20日、阿蘇くまもと空港内に『九州産交バスカウンター』を開設しました。この新しい窓口では、日本国内、台湾、韓国および香港から阿蘇くまもと空港に到着されたお客様に、スムーズで快適な熊本での旅を楽しんでいただくことなどを旨とし、バス乗車券の予約・販売、グッズ販売、そしてバス片道乗車券+手荷物配送サービスおよびSIM・Wi-Fiレンタルサービスなどを行っています。

バス片道乗車券+手荷物配送サービスでは、空港到着後、重いスーツケースや荷物を熊本市内や阿蘇市内の指定されたホテルまでお届けするため、荷物を持ち歩くことなく快適に熊本での観光をお楽しみいただけます。

また、SIM・Wi-Fiレンタルサービスでは、国内外から訪れるお客様に対応した通信プランを各種ご用意。高速かつ安定した通信環境でインターネットやSNSをご利用いただけます。

「九州産交バスカウンター」を通して、地域と協力しお客様の移動をもっと便利にすることで、これからも地域観光の発展に貢献してまいります。



手ぶら観光のご案内

熊本の空の玄関口に「九州産交バスカウンター」を開設

株式会社KASSE JAPAN

阿蘇の自然保護と草原保全活動を支援 ～阿蘇山火口シャトルの収益の一部を寄付～

KASSE JAPANが運営する「阿蘇山火口シャトル」は2020年11月より運行を開始し、阿蘇山上ターミナルから阿蘇中岳第一火口を結ぶ区間を1日9往復(全18便※予約便除く)運行しています。素晴らしい阿蘇の自然環境の中でお客様へ安心・安全なサービスを提供するとともに、その自然の保護・保全に努めること、そして阿蘇の貴重な自然環境を次世代へと引き継いでいくことが私たちの使命であると考えています。そこで、阿蘇山火口シャトルの収益の一部を「ASO環境共生基金」へ寄付させていただき、阿蘇の草原保全と自然環境保護を支援し、地域の持続的な発展に寄与いたします。これからも、地域の皆様と手を携えながら、阿蘇の魅力を守り未来へとつなげる取り組みを進めてまいります。



阿蘇山

九州産交バス株式会社

TVアニメ【推しの子】×「宮崎県高千穂町」コラボ開催 ～オンリーワン商材の開発～

九州産交バスは、TVアニメ【推しの子】と「宮崎県高千穂町」とのコラボレーションに際し、オリジナルデザインのラッピングバスの運行および記念乗車券の販売を行っています。オリジナルデザインは、TVアニメ【推しの子】で登場する「アイ」をメインに、高千穂町の風景を織り交ぜ、TVアニメ第2期「プライベート編」の舞台を連想させるデザインとなっており、多くの方に高千穂町へお越しいただきたいという想いを込めています。

ラッピングバスは、2024年11月1日より熊本～高千穂～延岡間を運行する都市間バス「特急たかち号」(九州産交バス便)において、2025年3月31日まで期間限定で運行いたしました。

これからもオンリーワン商材の開発に取り組み、九州産交グループ全体のプレゼンス向上につなげてまいります。



【推しの子】×「宮崎県高千穂町」オリジナルデザインラッピングバス(イメージ)

九州産交リテール株式会社

どらがしあんあん「くまもと菓子祭り 推しどらグランプリ」にてグランプリ受賞 ～熊本初開催! 推しのどら焼きを決める“どら焼き総選挙”でお客様投票数1位を獲得～

SAKURA MACHI Kumamoto地下1階の九州産交リテールが運営するどら焼き専門店「どらがしあんあん」は、2024年12月7日・8日に開催された「くまもと菓子祭り 推しどらグランプリ(主催:熊本県菓子工業組合)」において、「どらがしあんあん」の販売商品、「あんあんどら焼き(つぶあん)」が得票数1位を獲得し見事グランプリを受賞いたしました。「くまもと菓子祭り 推しどらグランプリ」とは、熊本県内からエントリーをした全16店舗、24種類のどら焼きの中から、最も美味しいどら焼き(推しのどら焼き)にお客様に投票をしていただく“どら焼き総選挙”として開催されたイベントです。熊本では初開催となり、記念すべき第1回目において得票数1位を獲得いたしました。

「あんあんどら焼き(つぶあん)」は、熊本県産食材をメインに使用したふわふわ食感の生地を特徴とし、一枚一枚手づくりで焼き上げ、ちょうどいい甘さのつぶあんを挟んだどら焼きです。直径6cmという小ぶりなサイズ感も「食べやすい」「もう一つ食べたい」とご好評をいただいています。ちょっとしたおやつにはもちろん、最近はお土産としてご購入いただくことも多く、県内外問わずたくさんの方にお召し上がりいただいています。九州産交リテールは今後も“食”を通して熊本の食文化の魅力発信に取り組んでまいります。



ふわふわ生地で小ぶりサイズが特徴
「あんあんどら焼き(つぶあん)」



推しどらグランプリ公式エンブレム



イベント当日の様子

自然豊かな三河湾を望む複合型リゾート
エンターテインメントやグルメ・ショッピングなど
さまざまなスタイルで海をお楽しみいただけます。



バイレーツ プラスト



株式会社ラグーナテンボス

ラグナシア

夢いっぱいのテーマパーク アトラクション、花火、イルミネーションなど1年を通じさまざまなエンターテインメントを提供します。

ラグーナプール 6月14日～9月28日

日本最大級のウェーブプールや全長230mの流れるプールなど、6種類の多彩なプールが楽しめます。

《新キッズプール7月下旬OPEN》

海の生き物をイメージした遊具で楽しめる「くじらさんのスプラッシュガーデン」がこの夏新たに登場します。



ジョイアマーレの浜辺



くじらさんのスプラッシュガーデン(イメージ)

サンリオキャラクターフェス in ラグーナテンボス

2月15日～5月18日

サンリオピューロランドの世界が再現された会場で、フォトスポットでの撮影やキャラクターグリーティングを楽しめる。



© 2025 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. SP650748

恐竜アドベンチャーダイナソーメイズ in ラグーナテンボス

3月15日～5月15日

人気のティラノサウルスなど、動き回るリアルな巨大恐竜に出会える、愛知県初登場の恐竜迷路。



WヒーローSPRINGフェスタ! 2025 in ラグーナテンボス

4月19日～6月29日

「ナンバーワン戦隊ゴジウジャー」と「仮面ライダーガヴ」をはじめ、歴代のヒーロー展示やフォトスポットが登場。



©石森プロ・テレビ朝日・ADK EM・東映AG・東映

トミカ・プラレールフェスティバル in ラグーナテンボス

7月12日～10月13日

トミカとプラレールの世界を一緒に楽しめるイベントを開催。



© TOMY 「トミカ」「プラレール」は株式会社タカラトミーの登録商標です。

ラグーナ フェスティバルマーケット

リゾート気分が満喫できるショッピングモール&レストラン

新鮮な海鮮を取り扱うおさかな市場のほか、多種多様なファッション&グッズや海を臨むレストランなどが揃うショッピングスポットです。



ラグーナ フェスティバルマーケット外観

変なホテル ラグーナテンボス

ラグナシアに直結したホテル

客室では最新のスマートフォンシステムが快適なホテルステイをサポートします。宿泊者の方はホテル専用ゲートよりラグナシアへご入園いただけます。



フロント

旅先でもご自宅でも 快適な通信環境を

H.I.S.Mobile株式会社

HIS Mobile

旅にも生活にも、なくてはならない通信サービス・機器を提案してまいります。

格安SIM

月額280円で通話もデータ通信もできる手軽さと、通話料金が業界最安級の30秒あたり9円を実現した、コストパフォーマンスの高い格安SIMカードを提供しています。NTTドコモ網を利用したサービスとなり、安定した通信品質も高評価をいただいています。



イメージ

Wi-Fiレンタル

国内外の旅行や出張に便利なレンタルWi-Fiルーターを取り扱っています。業界最多の国・地域に対応した容量無制限の海外Wi-Fiレンタルでは、動画視聴やSNSも安心してご利用いただけます。



イメージ

法人向けサービス

モバイルのことから動態管理、防犯カメラ、車両管理、介護見守りロボ等のIoT、M2Mに適したソリューションと通信までを一括してご提供します。

モバイル通信関連機器取り扱い

スマートフォン、タブレット端末、Wi-Fiルーター、翻訳機、携帯端末など用途に合わせた通信端末をレンタル、物販として各種取り扱うほか、不要となった機器の買い取りサービスも承ります。



イメージ

<https://his-mobile.com/>



地域経済に貢献し、持続的に成長するグループへ

Cross Eホールディングス株式会社

Cross E ホールディングス株式会社

思いやりの技術で笑顔あふれる日々を未来に繋ぐ

施設管理や各種建築設備工事を行うハウステンボス・技術センター株式会社と、廃棄物処理施設などの機械設置工事を行う西日本エンジニアリング株式会社の2社を傘下にもつ純粋持株会社として2022年11月に設立。2024年8月には福岡証券取引所Q-Boardに株式上場いたしました。「思いやりの技術で笑顔あふれる日々を未来に繋ぐ」をパーパスとして掲げ、事業を行っております。



イメージ



イメージ



ハウステンボス・技術センター株式会社は、施設管理や建築物の施工などを通じて、ステークホルダーの皆様に安心安全を提供すべく、日々の弛まぬ努力で皆様の笑顔を守り続けています。西日本エンジニアリング株式会社は、ごみ処理、排ガス、下水汚泥処理など社会生活を支える環境プラントの各種工事およびメンテナンス業務を通じて「人と自然に優しい環境作り」を推進しています。そこに共通する想いは、人と環境への思いやりです。私たちの技術で美しい環境と安心安全な暮らしを、そしてあふれる笑顔を次世代に引き継いでいくという責任を持ち、社会に貢献してまいります。

新規事業のご紹介

デジタルサービス推進

複数のサイトから同種の商品やサービスをまとめて比較できる「比較サイト」を企画・構築し、提供しています。情報過多の現代社会において、シンプルで分かりやすく、誰もが公平に商品やサービスを比較し、納得・安心して購入できるプラットフォームを目指しています。

「旅プロ」では20社以上の提携サイトから国内ホテルの最安値を比較できるほか、「ふるさと納税」や「ウォーターサーバー」など、多岐にわたるサービス・商材を取り扱い、ユーザーの「知りたい」にこたえる特集ページを多数公開しています。いずれのサイトもオーガニック検索からの流入が9割前後と高い水準を維持しており、信頼性の高い情報提供を実現しています。

また、新規の比較サイトとして、「オンライン英会話」の比較サイトもリリースしています。今後もサービスの横展開を図り、客観的なデータをもとにした信頼できる情報を発信し、ユーザーに「お得」や「便利」をお届けする良質なコンテンツの提供を継続してまいります。

旅プロ(国内ホテル)

<https://www.his-vacation.com/>

ふるさと納税

<https://hikaku.his-j.com/furusato/>

ウォーターサーバー

<https://www.his-j.com/waterserver/>

オンライン英会話

https://hikaku.his-j.com/online_english/

飲食

「食」と「旅」の相性を活かし、日本の食文化の活性化と保全を目指して、蕎麦屋、ホテルの朝食、海鮮バイキングレストランを運営しています。

2024年2月には、豊洲市場に隣接する商業施設「豊洲 千客万来」に「海鮮バイキング いろは」を新規開店しました。国内外の観光客に高品質な日本の食を提供し、開店以来、約10万人(2025年1月末時点)の方にご利用いただいています。今後は、2号店の出店や、海外への出店も視野に入れています。旅行会社が運営する強みを活かし、「食」と「旅」を掛け合わせた事業を展開してまいります。



「海鮮バイキング いろは」外観

海鮮バイキング いろは



「海鮮バイキング いろは」食事イメージ

現在運営中の店舗

「満天ノ 秀そば」(東京・四ツ谷店)
「ジュラシックダイナー」(変なホテル舞浜 東京ベイ内)
「海鮮バイキング いろは」(東京・豊洲店)

海鮮バイキング いろは

<https://restaurant-iroha.com/>



満天ノ 秀そば

<https://hidesoba.com/>



グランピング



「自然の中で、豊かな体験を通してみんなを笑顔にする」をビジョンに掲げ、2022年10月に石川県小松市で開業した北陸初の愛犬と一緒に過ごす専用グランピング施設「GLAMHIDE WITH DOG KOMATSU」は、愛犬と旅行を楽しみたいというニーズにこたえる施設として運営しています。四季折々の景色や季節に合わせたお食事の提供に加え、愛犬と楽しめるさまざまなイベントを展開しています。お客様の声を大切にしながら、変化し続ける施設として、心躍る体験をお届けしてまいります。



施設外観



夕食イメージ

<https://www.glamhide.com/wdog/komatsu/>



Community Business

市場価値が近年高まっているバーチャルYouTuber(VTuber)と旅を掛け合わせた事業を推進する「VTuber事業」。HISの新たなファン層の獲得や若年層へのアプローチを行い、旅の付加価値を高めた新たな体験価値を提供してまいります。また、旅コミュニティ「TABIFLEEEEEK」では、日本国内外から旅好きが自由に集まれるオンラインサロンを運営しており、旅人目線で最も旬な旅の魅力を発信することで、HISのブランドの価値の向上に貢献してまいります。

<https://his-vtabi.com/>

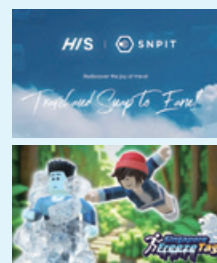


©Balus
©TenkaiTsukasa
©Satou Holmes

Web3.0・バーチャル

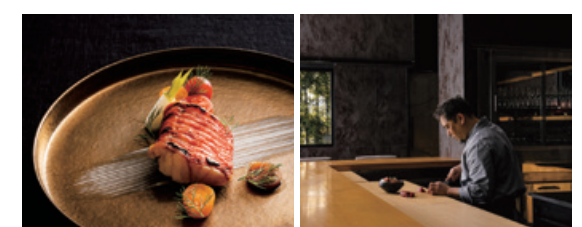
ブロックチェーンやメタバースをはじめとする最先端テクノロジーを活用し、新たなワクワクを生み出す挑戦をしています。「SNPIT」や「Roblox」などのエンターテインメントツール上でのサービスを通じて、新たなHISファン層の獲得や体験価値の創造、地域の活性化やソリューションの展開を目指してまいります。

<https://his-wvp.com/>



アメリカ 懐石レストラン「UKA」ミシュラン一つ星獲得

HISアメリカ法人が経営する懐石レストラン「UKA」(所在地:ロサンゼルス)は、2024年8月「ミシュランガイド カリフォルニア2024」において、一つ星を獲得しました。2023年6月にオープンしたUKAは、ハリウッドにあるJapan House内に併設された、本格的な懐石料理を提供するレストランです。オープンからわずか一年というスピードで、味のクオリティや独創的なデザインが評価され、ミシュラン一つ星の栄誉にあずかりました。



日米の旬な食材を取り入れたコース料理

UKA シェフの満江善隆氏

フランス 日本文化体験型コンセプトショップをOPEN



ゴリアット ディエーヴル氏によるデザインの店内

日本の酒類を集めたエントランス

HISフランス法人は、2024年9月にパリ中心部のマレ地区に、日本のコンセプトショップをオープンしました。単に商品を購入するだけでなく、日本文化に触れることで心を動かす体験の場を創り上げることが目標としています。これまでの店舗とは差別化を図り、日本各地の伝統工芸品や地域特有の選りすぐりの名産品を販売し、全ての方をターゲットとする「エクスペリエンスストア」として各地域の日本文化に触れていただくことで「心躍る体験」の場を提供しております。

サステナビリティ

マテリアリティ(重要課題)の特定

統合報告書 2025 **36**

地球環境の保全

環境方針

HISグループが事業を持続させていくには、人類を含めた動植物が生きる基盤となる健全な地球環境が必要だと考えています。そのために、気候変動対策、環境保護、生物多様性の保全、省資源化に取り組みます。そして、多くの方に地球環境や生物多様性に触れ学ぶ機会の提供を行うことは、観光産業を祖業とする私たちが持続可能な地球のためにできる、私たちの使命だと捉え取り組みます。

温室効果ガス削減

観光産業から排出される温室効果ガスは全産業の8～10%を占めていると言われています。私たちは取引先と協力しながら事業活動からの排出量を削減する取り組みを行うとともに、お客様へのサステナブルな選択肢の提案を行い、取り組んでまいります。

⇒ TCFDフレームワークに沿った開示はP.39をご覧ください。

具体的な取り組み

- ・EVカーの導入（沖縄ホテル（久米島、宮古島）、ベトナム、タイ）  ※1
- ・トロリーバスやシャトルバス運行によるレンタカー利用の削減（沖縄、ハワイ、バリ島）
- ・お客様へのCO₂オフセットプランの提供（エコツアー）
- ・レンタサイクルを使った国内ツアーの企画・販売
- ・フィルム型ペロブスカイト太陽電池を用いた実証実験
- ・アイドリング&スタートシステムの導入によるエンジンカットの実施（九州産交バス、産交バス）
- ・デジタルタコグラフを活用したエコドライブの推進（九州産交バス、産交バス）
- ・熊本桜町ビルの冷却塔設備での地下水の活用（九州BMサービス、九州産交ランドマーク）
- ・公共交通機関の利用促進日の実施によるマイカー利用の削減（九州産交バス、産交バス）



EVトゥクトゥクカー（タイ）

※1 タイ国政府観光庁 Sustainable Tourism Acceleration Rating (S.T.A.R.) 3つ星獲得 (2024)

サステナビリティやSDGsについて学ぶ旅

旅を通して地球環境や生物多様性等、サステナビリティに触れる機会を提供しております。そして、お客様とともに持続可能な社会の実現を目指していきたいと考えています。

具体的な取り組み

- ・サステナブルツーリズム特集ページの開設
- ・ハワイ州観光局とのマラマハワイの取り組み（ハワイ）  ※1
- ・スタディツアーの企画・実施
 - ・わたしたちと服の関係性を見つめなおす旅（タイ）  ※2
 - ・象の保護施設でお世話ボランティア（スリランカ）等
- ・大自然を体験するエコツアーの企画・実施
- ・サステナビリティやSDGsを学ぶ団体旅行の企画・実施
- ・ハワイSDGs海洋環境ボランティアプログラム（ハワイ）
- ・マングローブ林の植樹プログラム（フィリピン）
- ・ケアンズ市内にウォーターサーバーを設置し、ツアー参加者にマイボトルを配布（オーストラリア）
- ・旅するSDGsサイト：地球にやさしい旅の特集（国内）

※1 第2回JATA（日本旅行業協会）SDGsアワード地球環境部門奨励賞受賞（2024）

※2 第8回「ジャパン・ツーリズム・アワード」審査員特別賞受賞（2024）



サステナブルツーリズム特集

TOPICS ケアンズにウォーターサーバーを設置し、エコフレンドリーな旅を提案

HISオーストラリア法人では、ケアンズ市内やパームコーブエリア・キュランダエリアなど10ヵ所に無料のウォーターサーバーを設置し、旅行中のマイボトルの利用を促進しています。また、HISでツアーを予約された方に特典としてかわいいキャラクターがデザインされたエコ素材でできたaQuAsマイボトルをお渡ししています。いつまでも美しいケアンズの大自然を旅することができるように、オーストラリアを訪れるお客様も一緒に地球環境の保全に貢献できるサービスを提供していきたいと考えています。



aQuAsマイボトル

環境保護、生物多様性の保全

豊かな地球環境を未来につないでいくために、環境保護、生物多様性の保全に取り組んでまいります。

具体的な取り組み

- ・海洋保護に触れるマラマ・ステーションの設置（HISハワイ法人）
- ・ビーチクリーンキット無料貸し出しとゴミの回収（HISハワイ法人）
- ・阿蘇の自然保護と草原保全活動への寄付（KASSE JAPAN）
- ・長崎・大村湾護岸のボランティア清掃活動（Cross Eホールディングス）
- ・アジアゾウ保護ドネーションNFT発売



護岸ボランティア清掃活動

⇒ 阿蘇の自然保護についての取り組み詳細はP.29

TOPICS ハワイにおける再生型観光の促進

ハワイは、絶滅危惧種の自然や生物が多く生息し、同時にその土地や歴史ある文化を大切にする地域社会があります。観光が主要産業であるハワイは、世界でもレスポンシブル・ツーリズム（責任ある観光）に積極的に取り組んでおり、ハワイ語で「思いやりの心」を意味する「マラマハワイ」のスローガンのもと、訪れる人もハワイの自然環境、伝統・文化を守っていくことの重要性を発信しています。HISとハワイ州観光局は2022年9月、自然環境、伝統・文化を守り、地域と観光客がともに持続的な社会を作り上げていく再生型観光を促進すべく、パートナーシップ協力覚書を締結しました。これまでに、旅行コンサルタントへの勉強会などの社員教育をはじめ、地元団体と協力し、公園やビーチのクリーンアップなど、さまざまな「マラマハワイ」に取り組んできました。2024年11月には、LeaLeaラウンジー角に「マラマ・ステーション」を開設し、旅行者がハワイの自然環境、伝統・文化、豊かな地域社会について学べる展示物を設置し、さらに体験を通じ「マラマハワイ」の啓発につなげています。2025年6月までの期間、「海洋保護」をテーマに以下4つの体験を提供しています。

- 1. ビーチクリーンキットの無料貸し出し：**マイクロプラスチックを旅行者も気軽に回収できるよう、ビーチクリーンのキットを無料で貸し出し。回収されたマイクロプラスチックをマラマ・ステーションで提示された方に、LeaLeaトロリー1日乗車券を進呈。
- 2. リーフセーフ（サンゴ礁に優しい）な日焼け止めクリーム：**気軽にご利用いただけるよう、ステーション内に無料のポンプボトルを設置。
- 3. イルカやウミガメの絵本プレゼント：**イルカやウミガメウォッチングツアーなど、環境に配慮し「マラマハワイ」に貢献しているツアーにご参加の方に、環境問題を楽しむ学べる絵本をプレゼント。売上げの5%は各催行会社に寄付しています。
- 4. 「マラマハワイ」新体験ツアーの割引き：**非プラスチック製アイテム（エコバッグ、マイボトル、マイストロー、マイお箸）のいずれかがご提示で、「マラマハワイ」新体験ツアー「アロハの心でつながるワイキキ散策」を半額に。（2025年2月にて終了）

HISハワイ法人は、ハワイ・ツーリズム・オーソリティが運営する公式認証制度「Qurator（キュレーター）」で、6つの全てのカテゴリー（環境、文化支援、公平性、安全性、コミュニティ、そしてゲスト体験）において認証を取得したほか、「Qurator Honored（キュレーター・オーナード）」の総合認定を授与されました。HISハワイ法人は、現地に根差した旅行会社として、「マラマハワイ」を通じてレスポンシブル・ツーリズム、さらにはハワイのより良い未来へとつながる再生型観光を促進することをミッションとしています。



資源・廃棄物への対応

地球上の限りある資源を守るため、事業活動にともなう資源消費の削減、環境に配慮した素材への切り替えに取り組んでいます。

具体的な取り組み

- ・会議資料、レポート等の社内書類の電子化
- ・お客様アンケート、日程表等お客様お渡し書面の電子化
- ・森を守るFSC®認証コピー用紙の採用
- ・旅行事業におけるプラスチック製品使用の削減
- ・宅配用ビニール袋の紙袋への変更
- ・アメニティバーの設置によるプラスチック製品の削減（導入率96%）（ホテル）
- ・環境負荷低減アメニティの採用（HOTEL VISON、旅籠ヴィンソン）

	FY2024 使用量	削減率 (FY2019比)	FY2026 目標
コピー用紙	68.2t	－79.1%	－70%
プラスチック製品	3.5t	－86.2%	－70%



HISサステナビリティ 環境

<https://www.his.co.jp/sustainability/environment/attempt/>



人権の尊重

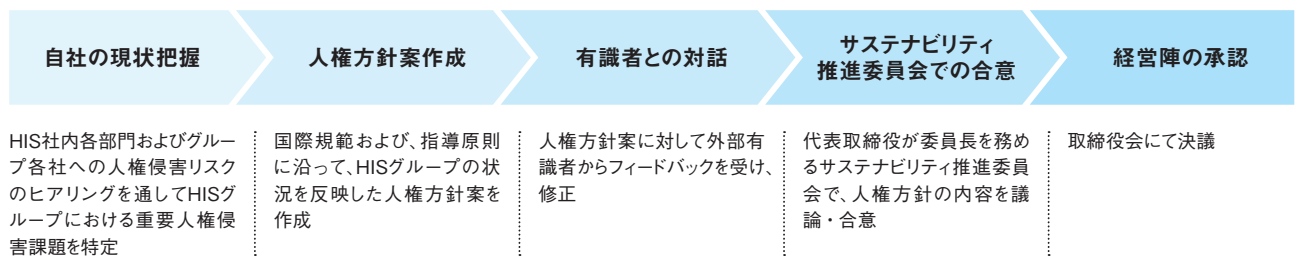
基本的な考え方

HISグループは、国内外のさまざまな地域で人と人をつなぐ事業を主体としており、HISグループのサステナビリティの根幹には人権の尊重があります。役員・従業員一人ひとりが人権を尊重し合うとともに、お客様、取引先様、地域社会等サプライチェーン上の人権を尊重したうえで事業を行うことが重要だと考えています。

HISグループの人権尊重の考え方を明確にするとともに、企業として人権尊重の責任を果たしていくために2024年12月に「HISグループ人権方針」を策定いたしました。HISグループ内での浸透と事業活動への定着を図るとともに、取引先関係者の皆様にも本方針へのご理解・ご賛同をいただくよう努め、人権デュー・デリジェンスの仕組みを構築し、実施してまいります。

策定プロセス

「国際人権章典」、「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」、「世界観光倫理憲章」等の国際規範を支持・尊重し、「国連ビジネスと人権に関する指導原則」に沿って、「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」のプロセスに従い方針を策定しました。



重要課題

HISグループの事業活動により負の影響が生じるリスクのある人権課題について、発生可能性と深刻度によるマッピングを行い、以下11項目を優先的に対策すべき重要課題といたしました。

重要課題とコミットメント

- ①差別**：国籍、人種、性別、宗教、信条、社会的身分、雇用形態、障害、性的指向、性自認などによる差別を認めません。また、提供するサービス・商品や広告において、差別につながる行為や表現を行いません。
- ②ハラスメント**：相手の人格や尊厳を侵害する言動による精神的または肉体的な苦痛を与えるあらゆるハラスメントを認めません。
- ③過剰な労働と労働安全衛生**：事業活動を行う国・地域において適用される労働時間に関する法令を遵守します。職場の安全・衛生に関する法令・ルールとその運用状況を確認し、快適で安全な職場環境を確保します。
- ④プライバシーの権利**：事業活動において知り得た、従業員、お客様を含むステークホルダーの私生活上の事実情報、非公知情報をみだりに公開することを行いません。また、個人情報の取り扱いについては、個人情報保護法および関連するその他の法令、国が定める指針その他の規範を遵守します。
- ⑤消費者の安全と知る権利**：お客様の健康と安全に配慮したサービス・商品の提供に努めるとともに、購買にあたって適正な判断を可能とする誠実な情報提供を行います。
- ⑥知的財産権の尊重**：事業活動において、個人や企業団体等に属する知的財産権を尊重し、侵害しません。
- ⑦便宜供与・不健全な商慣習**：事業上の便宜の確保や維持を目的とした、金銭その他の利益の供与、要求および受領を行いません。また、不健全な商慣習には毅然とした姿勢で臨みます。
- ⑧サプライチェーン上の人権問題**：サプライチェーン全体のステークホルダーへの人権侵害を認めません。私たちの人権方針をサプライヤーと共有し、その遵守状況を確認・評価します。
- ⑨先住民族・地域住民の権利**：事業活動により、先住民や地域住民のあらゆる人権を侵害することを認めません。特に祖業である旅行業、観光業において、地域住民や先住民族の生活や文化、宗教へ負の影響を直接的または間接的に及ぼす可能性を認識しています。
- ⑩環境・気候変動に関する人権問題**：事業活動において、大気・土壌の汚染や水質の汚濁などの環境破壊や、地域住民の良い環境を享受し健康で快適な環境の保全を求める権利を侵害することを行いません。また、環境破壊や地球温暖化を加速させることが明らかな事業等に対し資金の提供を行うことを通じて、人権の侵害への助長につながることをしません。
- ⑪強制労働と児童労働**：サプライチェーンを含む事業において、強制労働や児童労働を行いません。また、奴隷労働や人身売買を認めません。

具体的な取り組み

私たちは教育、人権デュー・デリジェンス、救済と是正、情報開示を通して、ステークホルダーとの対話を行いながら、本方針の浸透、事業活動への定着を進め、人権尊重に取り組んでまいります。そして、方針に反する事態が生じた場合には、速やかに事実確認と原因究明にあたり、適切な対応と再発防止に努め改善してまいります。

	実施内容				
浸透	・HISグループ従業員へのHISグループ人権方針の浸透 ・サプライチェーンに対するHISグループ人権方針の展開				
研修・eラーニング	・コンプライアンス研修～ハラスメント～(2023年2月実施 受講率91%) ・知的財産権 eラーニング(2023年12月実施 受講率80%) ・アンコンシャスバイアス eラーニング(2023年4月実施) ・企画担当者向けオンライン研修(2024年2,3月 66回実施)(表示・景品規約、知的財産権、安全・品質管理、旅行業法・約款、下請け法、リスク管理など) ・国内旅行企画担当者向けeラーニング 2回実施 ・旅行コンサルタント向けユニバーサルツーリズムオンライン研修 2回開催				
アセスメントアンケート	<table border="1"> <tr> <th>従業員向け</th><td> ・社員満足度調査(2024年7月実施 回答率91.3%) ・経営層向けのコンプライアンス意識調査(国内のHISグループ会社 2024年4月実施) ・コンプライアンスアンケート(2024年3月実施 回答率70%) ・ご旅行後アンケート、店舗利用アンケート </td></tr> <tr> <th>お客様向け</th><td></td></tr> </table>	従業員向け	・社員満足度調査(2024年7月実施 回答率91.3%) ・経営層向けのコンプライアンス意識調査(国内のHISグループ会社 2024年4月実施) ・コンプライアンスアンケート(2024年3月実施 回答率70%) ・ご旅行後アンケート、店舗利用アンケート	お客様向け	
従業員向け	・社員満足度調査(2024年7月実施 回答率91.3%) ・経営層向けのコンプライアンス意識調査(国内のHISグループ会社 2024年4月実施) ・コンプライアンスアンケート(2024年3月実施 回答率70%) ・ご旅行後アンケート、店舗利用アンケート				
お客様向け					
救済と是正	<table border="1"> <tr> <th>従業員向け</th><td> ・社内相談窓口 ・外部専門機関による社外相談窓口・健康相談窓口 ・海外従業員向け相談フォーム </td></tr> <tr> <th>お客様、サプライチェーン向け</th><td> ・お客様相談室(電話、フォーム) </td></tr> </table> ⇒ 内部通報制度の通報状況についてはP.55	従業員向け	・社内相談窓口 ・外部専門機関による社外相談窓口・健康相談窓口 ・海外従業員向け相談フォーム	お客様、サプライチェーン向け	・お客様相談室(電話、フォーム)
従業員向け	・社内相談窓口 ・外部専門機関による社外相談窓口・健康相談窓口 ・海外従業員向け相談フォーム				
お客様、サプライチェーン向け	・お客様相談室(電話、フォーム)				

差別なく、誰もが、いつでも、自由に旅を楽しめるように

HISでは、2002年より「ユニバーサルツーリズムデスク(旧バリアフリーデスク)」を設け、介護・福祉関連の専門知識を持ったスタッフや手話のできるスタッフを配置し、特別な配慮が必要なお客様へ向けたサービスを提供しています。2024年には、「しゅわ旅カレッジ」の取り組みが評価され、「JATA SDGsアワード2024」優秀賞、「ツアーグランプリ2024」審査員特別賞を受賞しました。



JATA SDGsアワード2024 授賞式の様子



JATAは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



車いすでの旅行の様子(トルコ)

HIS国内全店舗では、健康に不安のある方やお身体の不自由な方にも旅行を楽しんでいただけるよう、予約時に健康アンケートをご記入いただき、お客様の状況を把握したうえでお客様に合わせた旅の提案・手配を行っています。また、HISのグローバルネットワークを活用して、福祉車両やホテルのバリアフリールームの手配、観光における車いす等の導線を考えたルートのご案内等、受入体制の整備に取り組んでいます。

また、2024年4月より義務化された障害者差別解消法を受け、HIS国内店舗の旅行コンサルタント向けに「ユニバーサルツーリズム研修」を定期的を実施し、ユニバーサルツーリズムデスクで蓄積された知見や手配上の注意点、添乗員や企画担当者、お客様相談室なども最新情報を共有しています。こうした活動を通して、HIS全体のユニバーサルツーリズムのサービスレベル向上を目指し、誰もが、いつでも、自由に旅を楽しめるサービスを提供していきたいと考えています。



HISサステナビリティ 社会 人権の尊重

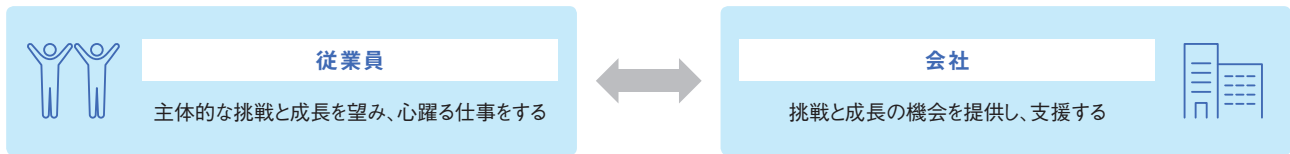
https://www.his.co.jp/sustainability/social/human_rights/



多様な人財の活躍

人的資本における基本的な考え方

HISグループでは、人財がHISの価値創造の源泉であると考え、従業員一人ひとりが働きがいを感じ、心躍る仕事ができる基盤づくりを進めております。HISグループの歴史は、旅行ビジネスの常識への挑戦からスタートしました。HISの創業は1980年。当時の海外旅行者数は年間約400万人程で、市場規模は2019年の5分の1程度でした。当時は高額で団体旅行が中心だった海外旅行市場において、格安航空券を利用したFIT (Foreign Independent Tour)を取り扱う先駆けとして、個人旅行・自由旅行という新しいマーケットの開拓への挑戦となりました。創業50年目にあたる2030年に目指す姿 (Vision2030)として創業の原点である「挑戦心」をメッセージの冒頭に掲げ、「挑戦心あふれ 世界をつなぎ 選ばれ続ける企業に Change&Create」を策定しました。「挑戦」はHISグループの歴史であり、一人ひとりが心躍る挑戦ができるための支援をすることによりHISグループの変革そして持続的成長を目指しています。



→ 中期人財戦略についての詳細はP.14

TOPICS 心躍る挑戦を称える「HIS Group Award」

「挑戦し続けよう」をコンセプトに、HISグループの中から年間で最も挑戦した個人、チーム、プロジェクトなどを表彰する「HIS Group Award」をFY2024より始めました。



HIS Group Award受賞者たち

これは、コロナ禍をきっかけに休止していた社内表彰制度をリニューアルしHISグループ全体へ拡大したものです。また「Purpose」部門も設け、心躍るエピソードをHISグループ全社から募集し、従業員投票にて最優秀賞を決定する、従業員参加型でお互いの挑戦を称え合う取り組みも行い、パーパスの浸透も実践しています。全世界から受賞者を日本に招聘した表彰式では、受賞者のご家族も招待し、ご来場ができない方にはオンライン中継でつなぐなど、表彰式の様子を受賞者を支えてくださっているご家族や職場の皆様にもご覧いただき、感謝を伝えられる機会となりました。



HIS Group Award表彰式の様子

主な取り組み紹介

人財開発・採用

人財育成方針

Vision2030「挑戦心あふれ 世界をつなぎ 選ばれ続ける企業に Change&Create」に則り、一人ひとりが大きな夢・目標を持ち、従来の考え方にとらわれず、自由な発想で考え、失敗を恐れずに、新しいことに挑戦する人財の育成に取り組んでまいります。

変革期を主導するリーダーの育成

- ・マネージャー研修 ・次世代リーダー研修
- ・20%プロジェクト公募
- ・経営陣とのタウンホールミーティング「ミライノジカン」
- ・社内ベンチャー制度「HIS Start-Up Program」



ミライノジカン

ITデジタル領域の採用および活躍支援

- ・「IT・デジタルコース」の設定



IT・デジタルコース

DEIB推進

DEIB推進方針

社員一人ひとりがお互いを尊重し合い、自分らしく挑戦し、成長し続けること、そして多様性を力に変えていくことを目指し、DEIB (Diversity, Equity, Inclusion, Belonging)を推進していきます。

私たちHISグループは、「全員活躍」を実現し、世界中の人々に“「心躍る」を解き放つ”価値の提供を行ってまいります。

女性活躍・両立支援

- ・DEIB推進室の設置と全国でのDEIB推進プロジェクト発足
- ・育休、産休者対象復職前座談会の実施
- ・育児短時間勤務制度等の多様な働き方の推進
- ・男性育児休業取得の推進 ・配偶者の出産休暇の付与

【主な認定】 子育て支援サポート企業(くるみん)2021 (HIS)/女性活躍推進企業(えるぼし3段階目)(HIS、ミキ・ツーリスト)/名古屋ワーク・ライフ・バランス推進企業(HIS)/熊本県男女協働参画推進事業者(九州産交ツーリズム、産交バス)/子育て支援優良企業認定証(九州産業交通ホールディングス他グループ6社)/Best Workplaces™ Managed by Women2024(Red Label Vacations)

実績およびKPI (HIS)

	FY2024実績	FY2026目標	FY2030目標
女性管理職比率	17.5%	20.0%	30.0%
女性役員比率	18.2%	20.0%	30.0%
男性育児休業取得率	70.0%	80.0%	100.0%

実績およびKPI (HIS海外関係会社)

	FY2024実績	FY2026目標
Non-Japanese Manager比率	59.0%	65.0%

多様性の尊重

- ・eラーニングにてアンコンシャスバイアス研修の実施
- ・事実婚、同性パートナーへの福利厚生制度の適用
- ・オフィスにおける礼拝室「Prayer Room(プレイヤールーム)」設置

働き方改革

健康経営宣言

HISグループで働く全ての従業員の健康は、HIS Group Purposeである“「心躍る」を解き放つ”を実現するための基盤です。私たちHISグループは、会社・従業員が一丸となって、健康保持・増進に向けた取り組みを推進し、従業員とその家族が明るく元気に、心身ともに健康であり続けるグループを目指します。

1. 従業員は、「健康」への意識を高め、自身とその家族の健康保持・増進に取り組みます。
2. 会社は、従業員の健康管理・健康づくりを積極的に支援します。
3. 会社は、従業員の身体的かつ心理的安全性が確保された職場づくりを推進します。
4. 私たちHISグループは、心躍る価値の提供を通じて、世界中に笑顔の輪を広げていき、人々の健康と平和を促進します。

社内環境整備方針

私たちHISグループでは、行動憲章に「快適で安全な職場環境の確保」を定めています。従業員が明るく元気に生き生きと挑戦し続けられるように、身体的安全性はもちろん、心理的安全性が確保された職場づくりを推進し、ワークエンゲージメントの向上を目指します。

健康経営の推進

- ・ウェルネス推進プロジェクトの発足
- ・衛生委員会の開催
- ・従業員向け健康相談窓口の設置
- ・HIS独自の休暇制度(長期休暇・アニバーサリー休暇・永年勤続特別休暇)
- ・積立有給休暇制度(失効する年次有給休暇を積み立て、自身の傷病や不妊治療、骨髄ドナー入通院で会社を休む場合に使用できる休暇制度)の導入



ウェルネス推進プロジェクト

多様な働き方の推進

- ライフスタイルや価値観の多様性に対応するべく、さまざまな制度を導入しております。
- ・フレックスタイム制度 ・在宅勤務・在宅旅行コンサルタント制度 ・副業制度
 - ・育児短時間勤務および定年後再雇用時の短時間・短日数勤務制度
 - ・退職者へのリ・エントリー制度 ・海外同行休業制度

フィロソフィー経営

「HIS Group Philosophy」への共感と浸透

- 一人ひとりがパーパス、バリュー、行動憲章、創業の精神から成る「HIS Group Philosophy」やHISグループらしさへの理解・共感を深め、個人の価値観や志との重なりを発見する機会を創出します。
- ・「Philosophy Handbook」の発刊
 - ・全世界スタッフへのフィロソフィー研修



海外フィロソフィー研修

実績およびKPI (HIS)

	FY2024実績	FY2026目標
有給休暇平均取得率	68.2%	75.0%
健康診断 二次健診受診率	45.0%	70.0%
ストレスチェック受診率	64.6%	70.0%

エンゲージメント指標 実績およびKPI (HISグループ)

	FY2024実績	FY2026目標
働きがい指数*	65.1%	80.0%

※社員満足度調査で「働きがいのある会社である」と答えた割合

キャリア自律

自律したキャリア形成と多様な成長機会の創出

- 一人ひとりが自律的にキャリアを構築できる仕組みづくりを実施します。
- ・キャリアプランを自己申告する「キャリアビジョン」制度
 - ・キャリアビジョン研修



キャリアビジョン研修

お客様への安心・安全の提供

基本的な考え方

HISグループは、お客様への安心・安全の提供は、国内外でさまざまなサービスを提供する私たちの重要な責務であると考えています。ガイドラインやマニュアル等を整備し、研修等を通して従業員や取引先に浸透を図り、より良いサービスの提供に向けて誠実に取り組んでいます。また、テクノロジーを活用してお客様により利便性が高く安心いただけるサービスを提供してまいります。

2024年度JCSI(日本版顧客満足度指数)旅行業種「顧客満足」1位を獲得しました。 → 詳細はP.16

旅の安全管理・品質管理

HIS「いい旅研究室」では、「手配・幹旋・品質安全管理基準ガイドライン」をはじめとする各種ガイドラインの策定を行い、定期的に安全管理・品質管理および適正な商品情報の提供に関する研修や調査を行っています。

具体的な取り組み

- ・各種ガイドラインの整備および取引先への周知
- ・海外ガイド研修、車両チェック
- ・覆面によるツアーの安全調査
- ・企画担当者向けオンライン研修(商品表示・景品規約、知的財産権、安全・品質管理、旅行業法・約款、下請け法等)、eラーニング
- ・取引先選定基準の整備
- ・危機管理マニュアルの整備および周知

→ 危機管理体制についてはP.56



車両チェックの様子

TOPICS ベトナム、インドでの安全管理体制視察

2024年にHISいい旅研究室は、海外法人の安全管理体制視察および研修の目的でベトナム、インドを訪問しました。
日頃から、HIS海外法人を通して、現地の車両会社やオプションツアー催行会社へHIS基準の遵守をお願いし、安全啓蒙や車両事故防止のための啓蒙動画も作成・配信を行い、言語や文化の違う海外のパートナーにも理解しやすい工夫をしています。また、それに加えて各国にあったチェック体制やシステムを導入し、より安全な運行管理を行っています。
視察では、車両会社を訪問し定期チェックの様子を確認したり、ガイドの研修やホテルやレストランの視察等を行いました。
ガイド研修では、現地ガイドが日本人に感じている文化の違い等に関する疑問も挙がり、相互理解を促進し、ガイドのサービスの向上につながる機会となりました。
これからも、お客様の旅の安全のために管理体制、品質の向上に努めてまいります。



ガイド研修の様子

お客様情報の保護

HISでは、Pマークを取得し、継続的な研修を行い従業員や取引先の理解浸透を図り、お客様やHISに関わりのある方々に関する情報を個人情報保護方針に従って適切に管理を行っています。また、お客様情報を含めたHISが取り扱う情報資産を守るため、セキュリティ対策を専門とする組織を設置、情報セキュリティ基本方針に基づいてセキュリティ強化を推進し、組織的・技術的な管理体制を整備することで、不正アクセスや情報漏えいの防止に努めています。

具体的な取り組み

- ・IT資産管理ツールやEDRを活用したサイバー攻撃への対応
- ・セキュリティアナリストの監視体制の整備
- ・不正なクレジットカード取引を検知するシステムの導入
- ・個人情報保護eラーニング実施
- ・情報セキュリティeラーニング実施

→ 情報セキュリティに関してはP.56

主要KPI

- ・情報セキュリティeラーニング研修受講率100%
- ・個人情報保護eラーニング研修受講率100%

お客様の安心

HISは日本の旅行会社最大の海外支店網を活かして、旅マエから旅ナカ、旅アトまで、お客様に安心して楽しんでいただきご満足いただけるよう、従業員教育や社内資格制度によるサービス品質の向上や、新しいサービスの開発に努めています。また「お客様相談室」では、お客様からのご意見を伺ったり、お客様アンケートを実施して、提供サービスの改善に努めています。

具体的な取り組み

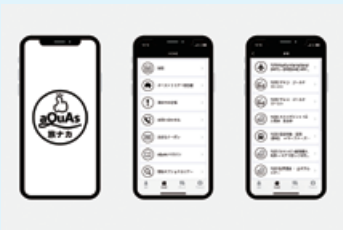
- ・旅行コンサルタント向けコンサルタント資格制度
- ・旅行コンサルタント向け各種デスティネーション研修
- ・旅行コンサルタント向けユニバーサルツーリズムオンライン研修
- ・添乗員表彰制度
- ・旅先での旅ナカアプリによるサービス提供(ハワイ、オーストラリア)
- ・旅行先でのLINEによるサービス提供(グアム、バリ島)
- ・旅行のキャンセル代金を補償する「キャンセルサポート保険」
- ・旅行先での日本語リモート診療等、海外旅行時の安心サポート付帯のクレジットカード「TAVICA」
- ・お客様アンケートの実施
- ・お客様相談室による電話、メールでのお問合せ対応



添乗員表彰式の様子

TOPICS 旅ナカアプリで旅先での安心、便利を向上

HISハワイ法人、オーストラリア法人では、HISツアーをお申し込みの方が使える旅ナカアプリを提供しています。アプリでは、旅のスケジュールに加えて、フライト時間やホテル情報、オプションツアーなども確認でき、集合場所の地図やツアー参加時の注意事項なども簡単にチェックすることが可能です。
さらに、現地の日本語スタッフとチャットでやり取りができ、フライト遅延などの情報や緊急情報はプッシュ通知でお知らせし、海外でも安心してご旅行を楽しんでいただけます。
ペーパーレスで自然にも優しく、旅先で使えるクーポンも見れる便利でお得な旅ナカアプリで、快適な海外旅行を提供してまいります。



オーストラリア「aQuAs旅ナカアプリ」

アクセシビリティの向上

安心してご旅行いただけるように、ご予約時に健康アンケートを実施し、お客様の状況にあったサービスをご提案しています。また、実際に旅先に足を運ぶことが難しい方、不安な方には、オンラインツアーで世界中の観光地に触れる機会を提供しています。誰もが自由に世界を楽しめるように、私たちは取り組みを続けてまいります。

具体的な取り組み

- ・ビデオ通話を使った旅行相談サービス「ビデオチャット」提供
- ・お子様連れの旅行への不安を解消する「ババママ相談デスク」の設置
- ・健康アンケートによる旅行前の健康状態のチェック
- ・ユニバーサルツーリズムデスクによる商品企画・実施
- ・旅行コンサルタント向けユニバーサルツーリズムオンライン研修実施
- ・いつでも世界を旅する「オンライン体験ツアー」提供
- ・車いす利用の現地発着ツアー(トルコ、エジプト)の企画
- ・「旅」と「健康」をテーマにしたHISの定期冊子「Salute! HIS」発行

→ ユニバーサルツーリズムの取り組みはP.42



ビデオチャット(イメージ)

HISサステナビリティ 社会 お客様への安心・安全の提供

<https://www.his.co.jp/sustainability/social/safety/>



地域社会との共生

基本的な考え方

HISグループは、世界中の地域とそこに暮らす人々とともに事業の発展があると考えています。事業活動を通じて地域社会の発展や相互理解の促進に貢献することで、世界の人々が安心して暮らせる社会を目指しています。

地域社会との連携

世界と日本をつなぐことは、相互理解の促進、世界平和につながる私たちの使命だと捉えて世界の地域と連携して事業活動を行っています。また、日本はそれぞれ固有の文化、食があり、四季折々の自然も楽しむことができる観光の魅力にあふれた国です。地方自治体と連携し、その土地の魅力に光を当て交流人口の拡大に努め、そしてオーバーツーリズム対策にも貢献してまいります。

具体的な取り組み

- ・海外における連携協定の締結 (FY2024 3地域) ・再生型観光 (マラマハワイ) の推進に向けたパートナーシップ協力覚書締結 (ハワイ)
- ・自治体との連携協定、人材派遣の締結 (FY2024 4自治体) ・公共施設の指定管理者に選定 (FY2024 2施設)
- ・地方創生をプロデュースする「さとゆめ」と資本業務提携を締結 ・地域の魅力発信 (＃HISがおじゃまします) 動画の配信
- ・「カンボジアの小学校で子どもと交流&課外授業」など、地域NPO団体との連携によるスタディツアーの企画・実施

⇒ マラマハワイの取り組みについてはP.38

⇒ 地域創生事業についてはP.24

地域の文化、伝統の保全

日本の伝統文化や食文化の発信や、地域の伝統文化の保護、地域の特色を活かした体験の提供などを通して、その価値を広める活動を行っています。事業活動を通して多くの方に触れていただくことで、文化や伝統の保全や継承に貢献してまいります。

具体的な取り組み

- ・日本芸術文化振興会と国立劇場等施設の活用に係る連携協定の締結
- ・日本食・文化を発信するコンセプトショップの運営 (ヨーロッパ6店舗)
- ・マヤ少数民族のマヤ刺繍および女性支援プロジェクト運営 (メキシコ) 🏆※1
- ・マサイの子どもたちの未来を支える学びの場づくり (ケニア) 🏆※2
- ・稲刈り体験でSDGsを考えるグリーンツーリズムの実施 (滋賀県)
- ・韓国地方都市グルメを紹介するガストロノミーツアーの企画 (韓国) 🏆※3
- ・日本料理・懐石レストランUKAの運営 (アメリカ) 🏆※4

※1 第2回JATA (日本旅行業協会) SDGsアワード 共創部門奨励賞受賞 (2024)

※2 第8回ジャパン・ツーリズム・アワード入賞 (2024)

※3 2024韓国絶品グルメ30選商品コンテスト 日本旅行業協会賞受賞 (2024)

※4 ミシュランガイド カリフォルニア2024 一つ星獲得 (2024)

⇒ 懐石レストランUKAについてはP.34をご覧ください。



マヤ民族の方々とプロジェクトメンバー

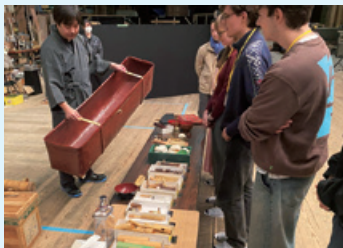
TOPICS 国立劇場を活用した訪日外国人観光客向け伝統文化体験

HISでは2024年9月に日本芸術文化振興会と国立劇場等施設の活用に係る連携協定を締結しました。

日本芸術文化振興会が運営する国立劇場は、歌舞伎、文楽、舞踊、邦楽、雅楽など日本の伝統芸能の保存と振興の場として1966年に開場しました。これまで、伝統芸能をより親しんでいただけるようさまざまな公演や、伝統芸能を未来へつなぐため伝承者の育成などを行う中核的拠点として活用されていましたが、施設老朽化への対応とバリアフリー化のために建て替えが決定し、2023年10月末をもって閉場しています。

HISは再開場までの期間、国立劇場等施設を有効活用した事業を実施することで、伝統芸能の保存と振興の拠点として、また日本の文化芸術の魅力を世界に発信する文化観光の拠点としての役割を発揮することを目指しています。

事業の第一弾として、歌舞伎に焦点を当てた日帰りバスツアーを訪日外国人観光客向けに発売しました。舞台施設や楽屋などの舞台裏を見学するバックステージツアーや、実際の公演で俳優が着用していた歌舞伎衣裳を羽織っての撮影会等を実施し、大変好評をいただきました。



舞台裏で擬音効果の道具の説明を受ける様子

復興支援・社会貢献活動

日本各地・世界各地で起こる災害からの復興支援や、社会貢献活動を通して、人々が安心して暮らせる社会の実現を目指しています。

具体的な取り組み

- ・チャリティゴルフイベント実施によるカナダ小児医療機関への寄付 (累計244万カナダドル) (RedLevel)
- ・在トルコ日系企業と協力したトルコ東部震災復興支援 (トルコ)
- ・スカイランタンイベント実施による能登半島地震復興への寄付 (約300名様参加)
- ・オンラインチャリティウォークイベント実施によるカンボジア小児医療への寄付 (109名様参加)
- ・手工芸品の購入による貧困層支援プロジェクトへの寄付 (フィジー)
- ・「オックスファム・ライス・イベント」へのボランティア参加 (香港)
- ・地元福祉施設と協力した子ども食堂の実施 (ラグーナテンボス)



スカイランタンイベントの様子

TOPICS 被災地の子どもたちに楽しい時間を届けるプロジェクト (トルコ)

2023年2月にトルコ東部を襲った大地震を受け、HISTルコ法人は、被災した子どもたち、特に障害を持つ子どもたちの支援を目的とした大規模な社会貢献プロジェクトを行いました。この取り組みを通して、延べ600名を超える子どもたちに旅行やアートに触れる体験を提供することで、自由に自己表現できる時間や癒やしの時間を過ごしてもらうことができました。

2024年2月と5月に、約40名の子どもたちにアンカラへの旅行を提供しました。また6月には地震の被災地のさまざまな地域で、子どもたちへ絵画、ゲーム、ダンスなどのワークショップを行いました。日本人のボランティアも折り紙を子どもたちに紹介し、文化交流を行いました。さらに12月には、イスタンブールに被災地域の子ども約130名を招待し、観光名所や博物館、水族館を巡ったり、アーチェリーや乗馬を楽しんだり、プロバスケットボールチーム選手と交流したりと特別な旅行を提供しました。このプロジェクトは、HISTルコ法人の従業員が自主的に参加し、観光業界、政府機関、学術界、民間企業など、多くの組織の協力を得て実現したもので、トルコの観光業界において、これほど大規模な社会貢献プロジェクトは前例がなくメディアからも大きな注目を集めました。

HISTルコ法人は、今後もトルコの観光業界の皆様と力を合わせてアクセシブルな観光を推進し、全ての人が旅行を楽しめる社会の実現に貢献していきます。



アートワークショップの様子

産学連携・教育支援

未来の社会をつくる子どもたちのため、実践的な学びの機会を提供するとともに、観光産業への関心をもっていただきたいと考えています。地域社会や教育機関との連携を深め、人材育成に貢献してまいります。

具体的な取り組み

- ・学生の企業訪問・インターンシップの受入れ、出張授業の提供
- ・オンラインお仕事体験プログラム (FY2024 全28回実施) 🏆※
- ・海外留学生へ向けた日本人医師のリモート診療サービス
- ・豊洲食育フェスティバルへの参加 (飲食事業・海鮮バイキング いろは)
- ・独立行政法人日本学生支援機構が発行する「ソーシャルボンド」への投資 (HS損保)
- ・阿蘇くまもと空港でのお仕事体験プログラム実施 (九州産交ツーリズム)

※第2回JATA (日本旅行業協会) SDGsアワード 奨励賞受賞 (2024)



阿蘇くまもと空港でのお仕事体験の様子



HISサステナビリティ 社会 地域社会との共生

<https://www.his.co.jp/sustainability/social/comunity/>



ガバナンス

Governance

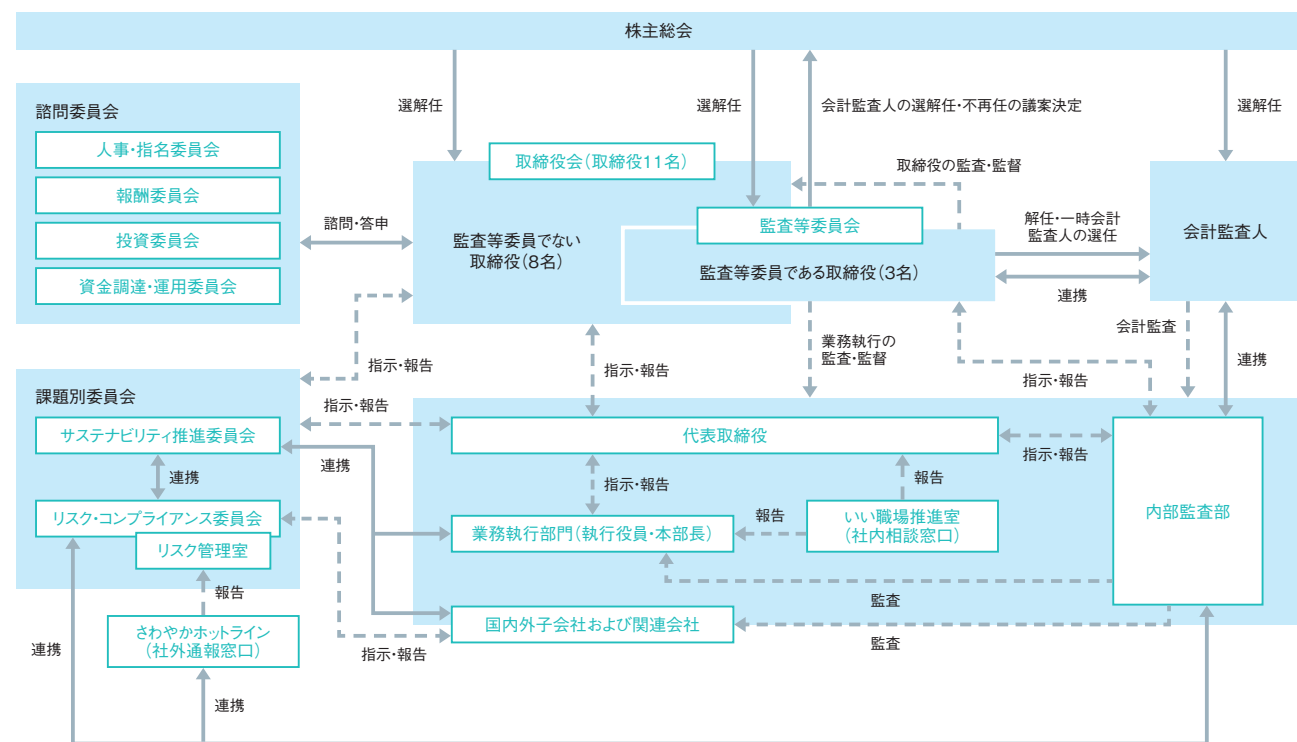
ガバナンスへの取り組み

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

HISグループは、マテリアリティに「ガバナンス強化」を掲げ、「HIS Group Philosophy」に基づき、ステークホルダーの皆様から信頼され、選ばれ続ける企業を目指しています。また、従業員一人ひとりが「HIS Group 行動憲章」に則り、ステークホルダーの皆様の権利・立場や健全な事業活動倫理を尊重する企業文化・風土の醸成に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス体制

コーポレート・ガバナンス体制図



取締役会

取締役会は、法令・定款・社内規程に従って重要な業務執行を決議によって決定し、各取締役の業務執行状況および主要なグループ会社の業績についての報告を受けています。各取締役においては、取締役会規程、業務分掌規程および職務権限規程などに基づいた役割と権限に従い、適正かつ迅速に意思決定を行って常に効率的に職務を執行しております。取締役会における重要事項は、適切に保持、記録、および管理し、法令もしくは金融商品取引所の適時開示規則に従い、または会社が株主や投資家の適切な判断に有用であると判断した場合に、適切な開示を行うように努めています。取締役会は、法令で定められた事項や経営の基本方針および経営上の重要事項に係る意思決定を行うとともに取締役および執行役員の職務の執行状況を監督し、原則として毎月1回開催しています。

FY2024

開催回数

13回

※別途書面決議7回

出席率

99.3%

審議・報告された主な事項

- ・中期経営計画の進捗確認・ローリング ・財務戦略 ・サステナビリティ推進
- ・ガバナンス・リスク管理 ・投融資案件の検討 ・後継者育成計画策定
- ・IR活動のフィードバック ・取締役会実効性評価意見交換 ・関係会社の業況の報告 等

⇒ 後継者育成についての詳細はP.53

監査等委員会

監査等委員会は法令・定款・社内規程・年間監査計画等に従って監査を行います。取締役や執行役員との個別の意見交換や重要事項の報告会、内部監査部門や内部統制部門からの定例報告受領会、会計監査人との定期的な意見と情報の交換会などを開催しています。常勤監査等委員による事業部門等への監査調書は、非常勤の社外監査等委員の閲覧に供され、必要な追加確認や提言が行われています。日常的な監査活動の総括を含め、定例の監査等委員会は原則として毎月1回開催しています。

FY2024

開催回数

13回

出席率

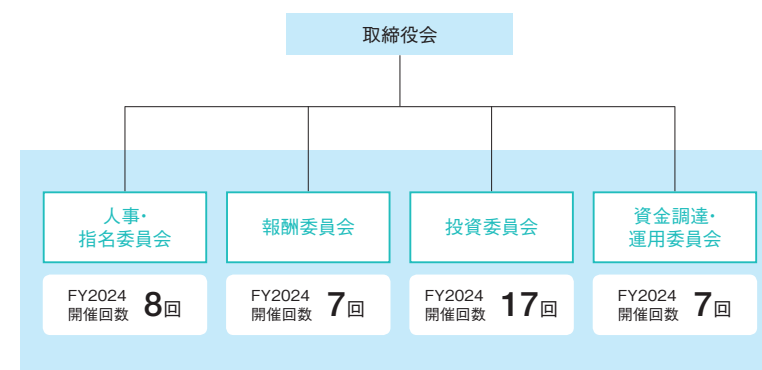
100%

議論・意見交換された主な事項

- ・取締役・執行役員等との意見交換会
- ・監査等委員でない社外取締役との意見交換会
- ・会計監査人からの監査報告および意見・情報交換会
- ・取締役会と監査等委員会の実効性評価の方法・項目
- ・グループ監査役連絡会における情報交換
- ・コンプライアンスの問題に係る調査・監査

諮問委員会

取締役会に、4つの諮問委員会が附属しています。取締役と執行役員の人事関連は人事・指名委員会、取締役と執行役員の報酬は報酬委員会、投資に係る案件は投資委員会、重要な資金調達または運用などについては資金調達・運用委員会、それぞれの委員会において社外取締役を含めた委員による審議を重ねた後に、取締役会の決議事項または報告事項として付議され、審議されます。取締役会では、各委員会の答申を尊重し、議案を決議しております。



課題別委員会

サステナビリティ推進委員会

サステナビリティ推進委員会は、代表取締役社長を委員長として、リスク・コンプライアンス委員会、業務執行部門、国内外子会社と連携し、重要方針や施策について議論するとともに、目標に対する進捗のモニタリング等を行い、サステナビリティへの取り組みを推進しています。またマテリアリティ（重要課題）への実効性を高めるために、サステナビリティ各領域の分科会・プロジェクトチームにて定期的な活動を行い、議論・検討の深化および実効性の向上に取り組んでいます。

FY2024
開催回数

4回

実効性向上のための推進プロジェクト

- ・サステナビリティ推進プロジェクト
- ・DEIB推進プロジェクト
- ・人権プロジェクト
- ・HIS Americas サステナビリティ推進委員会

⇒ 詳細はP.36

リスク・コンプライアンス委員会

代表取締役社長を委員長とし、HISグループのリスクマネジメントおよびコンプライアンスの徹底に必要な体制整備に取り組んでいます。これらの推進を通じて業務の適正を確保することを目的として設置し、HISグループのコンプライアンスに関する事案の情報共有、検討、決定等を行います。

FY2024
開催回数

4回

雇用調整助成金等受給問題の再発防止への取り組み

HISグループにおける雇用調整助成金等の受給問題について、特別調査委員会からの調査報告書による指摘事項、および提言等を踏まえ、再発防止策6項目【①コンプライアンス意識の醸成 ②グループガバナンスの強化 ③公的助成金の申請における内部統制の見直し ④労務管理の徹底 ⑤内部通報制度の周知および活用の促進 ⑥内部監査体制の見直し】を策定しました。グループガバナンスの高度化を図るため、「3ラインモデル」を意識した内部統制を再構築し、現場部門（第1線）、管理部門（第2線）、内部監査部門（第3線）がそれぞれの役割を果たすことにより、再発防止策の実効性を高め、迅速に実施してまいります。

役員体制

(2024年11月現在)



取締役のスキルマトリックス

氏名／役職		管掌	諮問委員会※1	FY2024 取締役会、諮問委員会 出席回数	企業 経営	旅行 事業	事業戦略 イノベーション	財務・ 会計	人事・ 労務	法務 コンプライアンス	デジタル戦略 ICT
1	矢田 素史 代表取締役社長 (CEO)	経営企画、人事担当	人事・指名委員会委員長 報酬委員会委員長 投資委員会委員長 資金調達・運用委員会委員長	■ 13/13 ■ 8/ 8 ■ 17/17 ■ 7/ 7 ■ 7/ 7	○	○	○	○	○		
2	中森 達也 専務取締役	株式会社ジャパンホリデートラベル 代表取締役社長、 国内関係会社、 観光産業推進担当	人事・指名委員 報酬委員	■ 13/13 ■ 8/ 8 ■ 4/ 4 ■ 5/ 5	○	○	○				○
3	織田 正幸 常務取締役	海外事業戦略、経理財務、 M&A担当	資金調達・運用委員 投資委員	■ 13/13 ■ 4/ 4 ■ 17/17 ■ 7/ 7 ■ 2/ 2	○	○	○	○			
4	山野邊 淳 取締役	HIS JAPANプレジデント	投資委員	■ 13/13 ■ 12/12 ■ 5/ 5	○	○	○				
5	五味 睦 取締役	新規事業戦略、 リスクコンプライアンス、 CS・ES、総務担当	資金調達・運用委員	■ 13/13	○	○	○			○	
6	澤田 秀太 取締役 上席執行役員	HIS JAPANヴァイスプレジデント、 情報システムDX推進担当、 最高情報セキュリティ責任者、 国内個人旅行営業本部長、 投資戦略本部長	人事・指名委員 報酬委員	■ 13/13 ■ 8/ 8 ■ 7/ 7 ■ 2/ 2	○	○	○				○
7	大和田順子 独立社外取締役	—	人事・指名委員 報酬委員 投資委員	■ 13/13 ■ 4/ 4 ■ 16/17 ■ 3/ 3			○		○	○	○
8	香川 進吾 独立社外取締役	—	人事・指名委員 報酬委員 資金調達・運用委員	■ 13/13 ■ 14/17 ■ 5/ 5	○		○				○
9	関田 園子 取締役 監査等委員	—	資金調達・運用委員	■ 13/13 ■ 7/ 7				○		○	
10	鍋島 厚 独立社外取締役 監査等委員	—	人事・指名委員 報酬委員 投資委員	■ 13/13 ■ 8/ 8 ■ 7/ 7	○				○	○	
11	金子 寛人 独立社外取締役 監査等委員	—	人事・指名委員 報酬委員 投資委員 資金調達・運用委員	■ 12/13 ■ 4/ 4 ■ 11/12 ■ 3/ 3 ■ 7/ 7	○		○	○		○	

■ 取締役会※2 ■ 人事・指名委員会※3 ■ 報酬委員会※3
■ 投資委員会※3 ■ 資金調達・運用委員会※3

※1 2025年3月現在
※2 記載の取締役会の開催回数のほか、取締役会決議があったものとみなす書面決議が7回ありました。
※3 期中の諮問委員構成変更のため、開催回数が委員により異なります。

取締役会 実効性評価

HIS取締役会は、さらなる実効性確保および機能向上に取り組むため、毎年、取締役会の実効性について分析・評価を実施しております。評価実施後、取締役会において全てのアンケート内容を確認し、意見交換を行っております。

評価プロセス

評価対象者	評価方法
社内取締役(6名)、独立社外取締役(2名)、取締役監査等委員(1名)、独立社外取締役監査等委員(2名)	実施方法:アンケート(記名式) 実施期間:2024年8月～2024年10月
アンケート項目	1.取締役会の構成(人員・多様性) 2.取締役会の運営(審議の活性化、資料、時間配分) 3.取締役会の議論内容(ガバナンス・リスク管理、サステナビリティ、中期経営計画等、重点戦略の審議) 4.取締役会を支える体制(諮問委員会運営、知識習得・継続的更新、後継者育成) 5.取締役会とステークホルダーとのコミュニケーション

FY2024における主な改善点

最高経営責任者等の後継者計画を策定し運用を開始したが、取締役会のさらなる多様性の実現については引き続き検討の必要がある。

事業ポートフォリオの再構築のため、旅行関連や非旅行事業の構成比向上につながる投資等を議論のうえ、実施できた。

サステナビリティなど非財務情報において、環境(E)における温室効果ガスの定量的な実績開示が進み、社会(S)においては人権方針が策定された。

今後取り組むべき課題

グループ全体のリスク管理・ガバナンス体制について、取締役会での継続的な議論と監督の強化

取締役の多様性と専門性の向上へ向けた方針と実行計画の策定

事業ポートフォリオの再構築を含めたグループ全体の中長期的な戦略に関する議論の活性化

サステナビリティなど非財務情報においての定量的な目標設定と実効性の強化

役員報酬

役員報酬の決定方針

2021年2月25日開催の取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針を決議しております。

【報酬の算出方法と報酬決定に関わる規定】

HISの役員の報酬等の額は、株主総会で承認された報酬総額の範囲内で、各取締役(監査等委員を除く)への配分は、報酬委員会の答申を得たのち、取締役会において、また、各監査等委員である取締役への配分は、監査等委員の協議により、それぞれ決定しております。算定方法の決定に関する方針は、取締役会および監査等委員の協議により定められた報酬の内規に基づいており、報酬体系・報酬決定の基準・標準報酬額などに関する定めを置いております。

【報酬方針】

- 公平性の高い、競争力のある報酬制度であること
- ・ 国籍・性別を問わず、職責と成果に基づき、優秀な人材の獲得・保持が可能となる報酬体系および報酬水準
- 企業価値・株主価値向上を重視した報酬制度であること
- ・ 業績連動性が高く、中長期的な企業価値・株主価値の向上を重視した報酬制度および報酬構成

HIS取締役(監査等委員を除く)の報酬体系

報酬の種類		目的・概要
固定	a. 基本月額報酬	取締役としての役割と役位に応じて金額を決定し、月額固定報酬として支給。
変動	b. 業績連動報酬(経常利益に連動)	過去10期間(連結会計年度)のうち、上位3年間の経常利益の平均値を基準数値とし、原則、当期の経常利益額から上記の基準数値を差し引いた額の7%相当額を支給額とする。ただし、業績動向に応じて、上記の7%に±1～2%の調整を加えて算出。 ・ 具体的な支給額は、事業年度ごとの業績目標の達成度等に応じて基準額の0%～200%の範囲内で決定。 ・ 各事業年度終了後に一括して支給。
	c. ストック・オプション	中長期的な企業価値向上を目標とした報酬であり株式報酬型ストック・オプション制度に基づいて設計(総額は株主総会にてご承認いただいた年額(年額100百万円以内)の範囲内で支給)。
	d. 譲渡制限付株式報酬	取締役(監査等委員である取締役、非業務執行取締役、非常勤取締役および社外取締役を除く。)に対し、譲渡制限付株式を割り当て、HIS株式を保有させることでHISの企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与え、対象取締役と株主の皆様との一層の価値共有を進めることを目的(総額は株主総会にてご承認いただいた報酬限度額年額(年額100百万円以内)の範囲内で支給)とする。 ・ 基準額は、月額報酬 × 役位別倍率で算出

報酬水準 取締役および執行役員の報酬制度や報酬水準については、決定プロセスの客観性・透明性を確保する観点から、報酬委員会において審査し、取締役会の決議にて決定します。

報酬構成比率

	基本報酬	役員賞与	株式報酬	
報酬種類	a. 基本月額報酬	b. 業績連動報酬	c. ストック・オプション	d. 譲渡制限付株式報酬
業績連動の有無	固定	業績連動	業績連動	非業績連動
支給時期	毎月	年1回	中期経営計画終了時	各役員の退任時
報酬構成比	40%～48%	32%～40%	5%～9%	11%～15%

役員体制

(2024年11月現在)



執行役員

氏名	管掌	氏名	管掌
① 高野 清	情報システム本部長、DX推進本部長	⑨ 花崎 理	経理財務本部長
② 福島 研	株式会社エイチ・アイ・エス デザイン アンド プラス 代表取締役社長	⑩ 瀬川 活	経営企画本部長
③ 岩間 雄二	九州産業交通ホールディングス株式会社 代表取締役社長	⑪ 熊本 智久	中南米地域本部長、メキシコ法人 統括支店長
④ 波多野英夫	海外事業統括本部長、 H.I.S. CANADA HOLDINGS INC. PRESIDENT & CEO	⑫ 福井 茂	Group Miki Holdings Ltd. President & CEO、 ヨーロッパ・中近東・アフリカ リージョナルカンパニー プレジデント
⑤ 有田 浩三	海外個人旅行営業本部長	⑬ 赤尾 昇平	人事本部長
⑥ 片岡 由佳	エイチ・エス損害保険株式会社 取締役執行役員 財務経理部長	⑭ 津田 周和	アジア・オセアニア リージョナルカンパニー プレジデント
⑦ 小田孝之介	北中南米・ハワイ・マイクロネシア リージョナルカンパニー プレジデント	● 平澤 敦史	訪日旅行営業本部長 (2025年1月着任)
⑧ 日根 克巳	株式会社ミキ・ツーリスト 代表取締役社長		

後継者育成

最高経営責任者等の後継者計画の策定の目的

HISグループの持続的成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、創業の精神を基盤に、人類の創造的発展と世界平和に寄与し、HIS Group Purpose“「心躍る」を解き放つ”を実現するためには、事業成長を牽引する経営者の育成が重要であると考えております。HISらしい経営判断(HIS Group Philosophy)に則り、経営環境・技術革新・市場動向の変化スピードに対応した意思決定ができ、国籍・人種・性別・年齢等の制限をもたない多様性あふれる経営体制を持続できるように、最高経営責任者(CEO)の後継者候補および取締役の後継者候補に求める人財要件を策定し、育成計画を推進します。

最高経営責任者(CEO)候補者および取締役候補者に求める人財要件 “3つの力”

- ①基軸力「ビジョン・理念を次世代につなぐ力」
100年続く企業を目指し、自身の志高く、短期、中期、長期の経営ビジョンを掲げ、その実現に向けて経営を執行し、創業から脈々と受け継がれてきた理念をもとに、次世代につなぐ経営執行ができる人財
- ②構想力「社会の進歩に寄与した企業経営・戦略を構想する力」
グローバルな視野をもち、社会の進歩に寄与し、人類の創造的発展と世界平和に貢献できる企業戦略を構想し、経営を主導できる人財
- ③実現力「人財を大切に、戦略構想を実現する力」
企業活動を通じて生み出す価値創造の源泉は「人財」であり、一人ひとりの「挑戦心」を育み、強みや多様な個性を最大限に引き出し、次世代を担う後継者を育成し、経営者として人から慕われ、自分を律し、公正・公明・誠実さを行動で発揮し、戦略構想を実現し続ける人財

株主・投資家との対話

株主・投資家との対話に対する考え方

株主の皆様や投資家の皆様等(以下では「株主等」といいます)との建設的な対話が、HISの中長期的な企業価値の向上と持続的な成長に資すると考えております。HIS Group Philosophy、HISグループの事業環境、経営陣、経営方針、経営施策等に対する理解を深めていただくとともに、株主等の観点によるHISへの評価を知り、提言が得られる良い機会であると捉えています。

HISは、株主等との建設的な対話を促進するために、以下基本方針として、体制を整備しながら取り組んでおります。

- (1) HISは株主等との対話のための活動を企画・実行するための専門部署(IR室)を設置しています。
- (2) HISの経営活動や事業運営に関する理解促進に向けて、株主総会および決算説明会のほか、個別取材およびIRイベント、施設見学会などを実施し、株主等との建設的な対話に努めています。
- (3) 株主等との対話全般はIR室が担当し、社長がこれを統括しています。株主等からの要望や対話の主題等を踏まえ、合理的な範囲で経営陣も対話に臨みます。
- (4) IR室は、株主等との円滑な対話を促進するため、関連部署と定期的に情報を共有する等、有機的な連携を図るとともに、各事業セグメント会社とも適宜情報交換を実施いたします。
- (5) 株主等との対話から得た意見・要望・懸念等については、経営陣および取締役会に適時報告し、経営活動や事業運営に活かしていきます。
- (6) 株主等との対話では、未公表の重要事実を開示しません。

FY2024 主な活動

IRカレンダー



対象	イベント	実績	対応者	開催方法・テーマ
株主	株主総会	2024年1月	代表取締役社長 ほか	対面形式
個人投資家	日興 WEB IR (主催:SMBC日興証券(株))	2024年2月	代表取締役社長	WEB配信 企業紹介・事業戦略
機関投資家・アナリスト (国内・海外)	決算説明会	2023年12月 2024年6月	代表取締役社長 ほか	会場・オンラインにてハイブリッド型開催 本決算・中間決算
	カンファレンスコール	2024年3月 2024年9月	代表取締役社長 ほか	オンライン開催 第1四半期・第3四半期 決算
	社長スモール ミーティング	4回	代表取締役社長	対面形式 決算・中期経営計画
	施設見学会	2024年3月	担当役員	各種施設見学 (開催実績) 変なホテル東京 浅草田原町
	海外IR	2024年6月	代表取締役社長 IR担当	対面形式 決算・中期経営計画
	個別取材	180件 248社	IR担当	オンラインもしくは対面での対話 決算・中期経営計画

株主・投資家との対話の経営へのフィードバックと対応

株主等との個別取材での質疑および意見・要望・懸念等の内容を、経営陣に向けて取締役会にて適時報告し、経営活動や事業運営に活かしているほか、証券会社発行のアナリストレポートについても発行の都度、共有を行っております。また、株主等からのヒアリングポイントを参考に、開示情報の拡充、統合報告書の記載内容の充実を図っています。

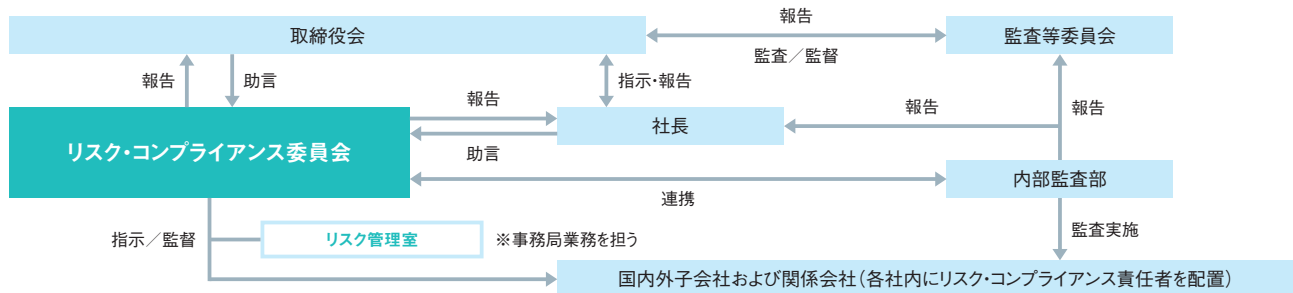
コンプライアンス・リスクマネジメント

コンプライアンス基本方針 「正々堂々」

常に変化する社会の潮流にアンテナを張り、社会の潮目を理解しながら「バランスと倫理観」を持って正々堂々と行動すること。HISグループがステークホルダーの皆様から信頼され続けるために、この基本方針を貫き、一人ひとりがHISグループの顔であるという当事者意識を持って実践します。

コンプライアンス体制 ～組織と運営～

リスク・コンプライアンス体制

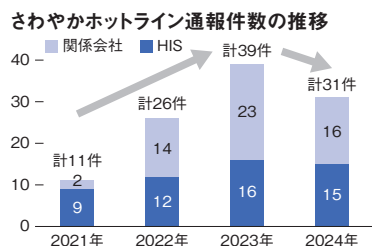


リスク・コンプライアンス委員会

代表取締役社長を委員長とし、HISグループのリスクマネジメントおよびコンプライアンスの徹底のために必要な体制を整備し、これらの推進を通じて業務の適正を確保することを目的として活動します。四半期ごとに開催され、HISグループのコンプライアンスに関する事案の情報共有、検討、決定等を行います。

リスク管理室

リスク・コンプライアンス委員会の事務局としての役割を担い、HISグループ全体のリスクに関する情報を収集し、リスク・コンプライアンス委員会に共有します。発生しうるリスクの洗い出し・分析・評価・対応に係る管理体制の整備や、リスクの顕在化を未然に防止するために活動します。HISグループ各社のリスク・コンプライアンス責任者と分科会開催等で連携しグループ全体のコンプライアンスを推進します。



HISグループ内での周知と信頼度の向上により、通報件数は増加傾向にあります。
繰り返しの啓蒙活動に加え、通報内容の傾向からリスク分析など、活用度を高めてまいります。

内部通報制度

あらゆるリスクを早期に発見し対策を講じることを目的として、各種相談・通報窓口を設け、コンプライアンスや業務環境に関わることなど、幅広い内容に対応しています。社内窓口のほか、専門機関に委託した外部窓口「さわやかホットライン」を設けるとともに、相談・通報したことを理由に不利益な扱いを受けないよう、関係者の守秘義務を徹底し、関連情報を厳重に管理しています。

それらにより利用者が相談・通報しやすい環境を整え、自浄作用を高めています。

コンプライアンス推進活動

実施者	活動内容	実績	手段
委員会委員	リスク・コンプライアンス委員会 ・年間活動報告・考察 ・研修実施報告 ・コンプライアンス意識調査結果 考察 ・グループ会社 分科会 実施報告 ・関連規程策定 協議 ・個人情報事故の傾向分析・対策協議 ・情報セキュリティ対策 協議 ・次期活動計画検討	4回	対面形式（一部オンライン）
リスク管理室	コンプライアンス研修 ・知的財産権研修 ・JATA®主催コンプライアンス研修 ・個人情報保護研修 ※JATA＝一般社団法人日本旅行業協会	3回	動画視聴・eラーニング
	コンプライアンス関連情報配信 ・Monthly Newsletter ・管理職向けメールマガジン ・HIS社員向け事例紹介	12回 12回 6回	イントラ配信 メール配信
	リスク・コンプライアンス関連情報の共有 ・グループ内各社からの報告リスト ・リスク・コンプライアンス委員会	12回 4回	リスト提出・委員会報告 委員会後の共有会実施
	コンプライアンス意識調査	年1回	アンケート方式

事業等のリスク

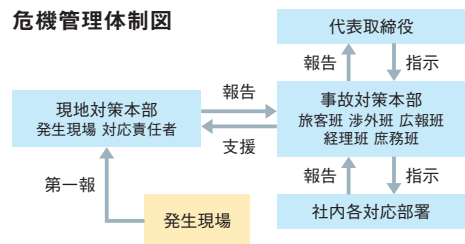
HISグループのリスクを洗い出した主な項目は右記の通りです。

予防策を実施するための体制を整備し、定期的なリスク管理の確認、見直しを行うことにより、リスクの低減と未然防止に取り組みます。また、グループ全体のリスク管理の観点から、子会社・関連会社からの即時報告および定期的な報告を実施しています。

- a.経済・社会情勢の変化
- b.市場の変化
- c.技術革新への対応
- d.提供するサービスの安全管理・品質管理
- e.システム・設備の障害などによるサービスの中断・品質低下
- f.人材の育成・確保
- g.気候変動・環境規制
- h.ガバナンス
- i.経理・財務

危機管理体制

事故や災害などが発生した場合には、当該事象への対策方針を決定する事故対策本部をHISに設置し、関係各署との連携のもと、迅速かつ確かな危機対応を行います。自然災害など、発生し得るリスクの全てを制御することはできませんが、リスクを認識し、HISグループの経営、ステークホルダーへの影響を最小限に抑えるための危機管理体制を整備しています。お客様、各社社員の安全と状況の確認を迅速に行い、各社事業の早期復旧や事業継続に対応します。



情報セキュリティ

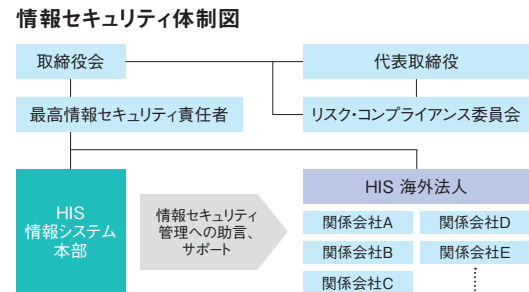
HISグループでは、取り扱う情報資産を守るため、機密性・完全性・可用性を確保するセキュリティ対策を徹底しています。情報セキュリティ基本方針に基づいてセキュリティ強化を推進し、情報資産の保護に努めており、この取り組みをグループ全体で促進しています。

基本方針

情報漏えいリスクに対して抜本的かつ高度な対策を講じることで、お客様や社会からの信頼を得ることを目指しています。そのため、HISでは「情報セキュリティ基本方針」を策定し、役員から全社員に至るまでこれを遵守し、実践しています。

体制

情報セキュリティを確保するため、組織的・技術的な管理体制を整備し、不正アクセスや情報漏えいを防止しています。また、最高情報セキュリティ責任者を中心とした管理体制を構築し、セキュリティ対策を専門とする組織を設置しています。グループ全体で各種施策を連携させることで、より強固な体制を実現しています。



対策

IT資産管理ツールやEDR(Endpoint Detection and Response)などの最新技術を活用し、巧妙化するサイバー攻撃に対応しています。また、SOC(Security Operation Center)を設置し、セキュリティアナリストが監視を行っています。さらに、米国国立標準技術研究所(NIST)のCSF(Cyber Security Framework)や米国CIS(Center for Internet Security)のCIS Controlsを活用し、対策内容を定期的に見直すことで、セキュリティ対策を進化させています。

脅威や攻撃の監視

パソコンやサーバーから収集したログデータを監視し、不審な通信やマルウェア感染の兆候を早期に発見する体制を整えています。また、セキュリティ団体やセキュリティベンダーから最新の脆弱性情報や攻撃手法を収集し、迅速に対応しています。さらに、SIEM(Security Information and Event Management)を活用し、ログの相関分析を行うことで、複雑化する攻撃の早期検知を目指しています。

セキュリティ診断

システムの脆弱性を放置することは、ネットワークやシステムへの攻撃リスクを高める要因となります。当社では、社内のセキュリティエンジニアが徹底した脆弱性診断を実施し、発見された問題に対して迅速に改善を指示しています。リリース後も継続的に診断と対策を行い、セキュリティリスクを最小限に抑える取り組みを行っています。

セキュリティ教育

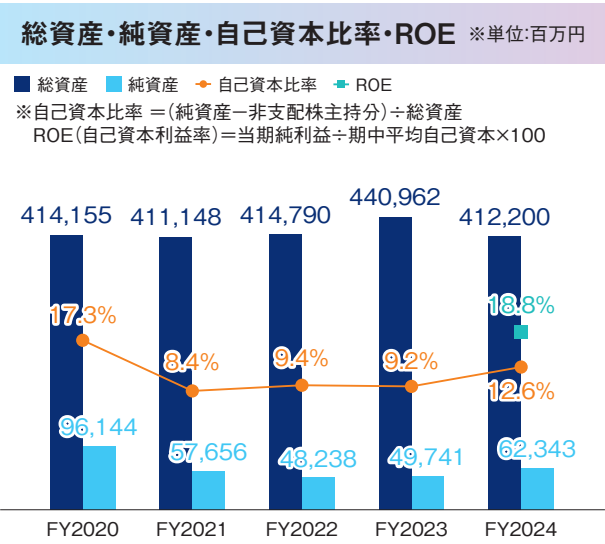
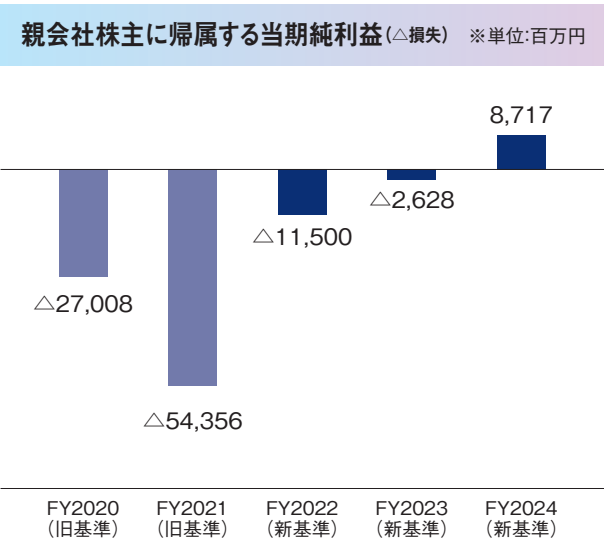
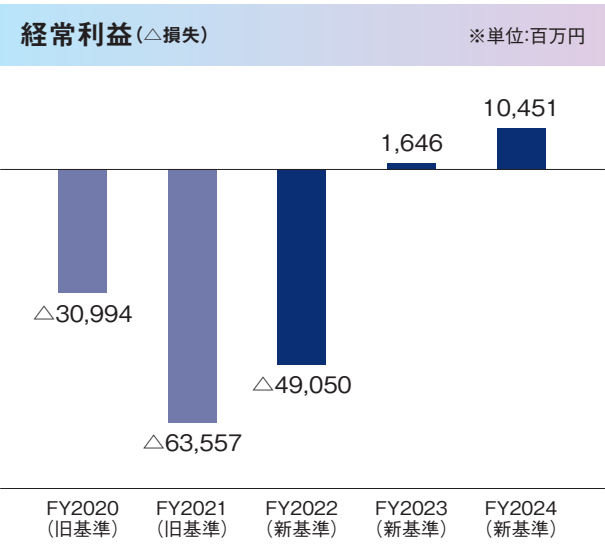
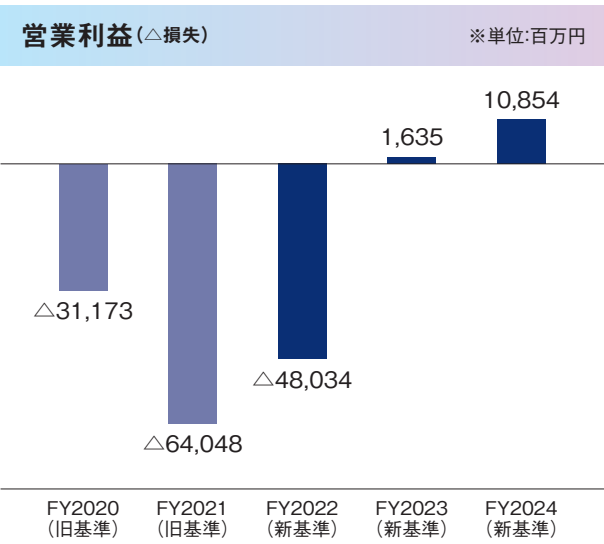
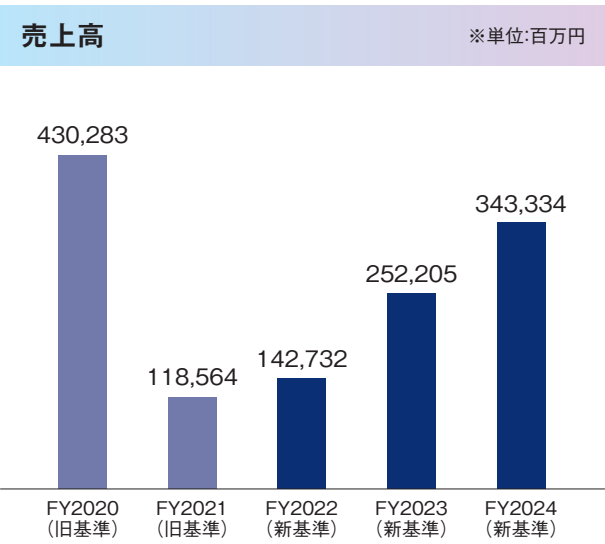
情報セキュリティの重要性を全社員に認識させるため、教育活動を積極的に展開し、情報資産の適切な取り扱いを徹底しています。守るべきセキュリティの基本ルールである「セキュリティマナー」を定めて周知するとともに、セキュリティ研修や確認テストを実施して、社員の知識向上を図っています。これにより、社員一人ひとりのITセキュリティ意識を高め、個人情報保護の徹底を推進しています。

継続的な改善

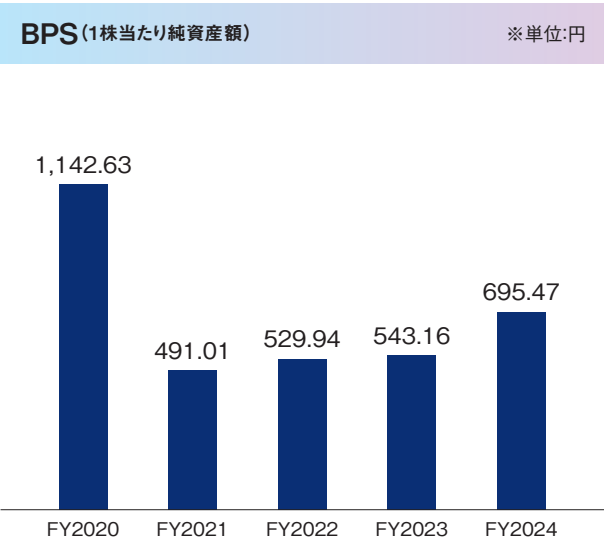
デジタル技術の進化やサイバー攻撃の巧妙化に対応するため、当社は最新技術の導入や社員教育、専門家の育成を通じて、セキュリティの強化を継続しています。また、情報セキュリティ対策の合理性を定期的に評価し、見直しと改善を行うことで、常に最適なセキュリティ体制を維持しています。

連結決算

※各データは、HIS10月期決算に基づきます。
※2022年10月期より収益認識による会計基準を適用。



(注) 損失が計上されている年は、ROEの記載を省略しています。



財務方針

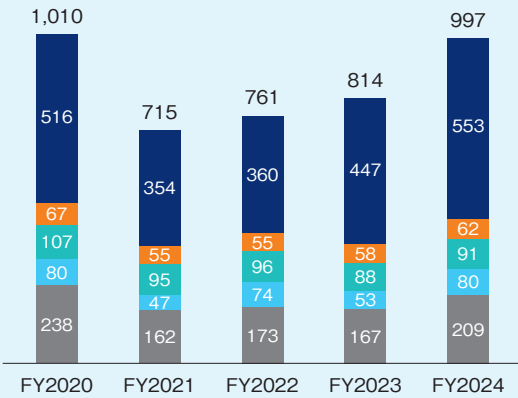
財務基盤の強化

・成長事業の拡大と不採算事業の見直し

・限られた投資予算は収益性・将来性の高い事業へ集中

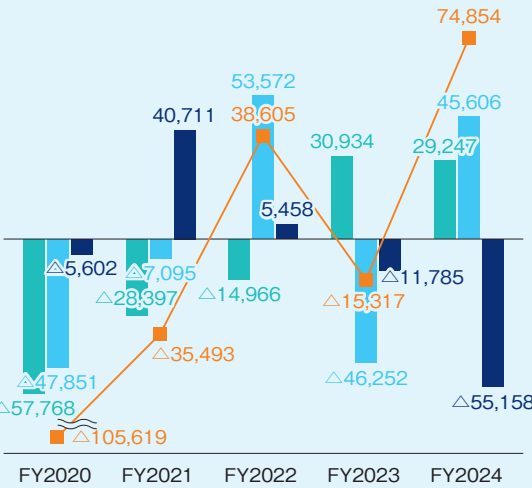
販管費の推移 ※単位:億円

■ 人件費 ■ 賃借料 ■ 減価償却費・のれん償却費
■ 宣伝費 ■ その他



キャッシュフローの推移 ※単位:百万円

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF ■ フリーキャッシュフロー



※各データは、HIS10月期決算に基づきます。

施策の方針

(1) 自己資本比率目標20%

- ➡ 資本増強 (本業での利益積上げ)
- ➡ 有利子負債の削減

(2) フリーキャッシュフローの改善

- ➡ 各事業セグメントでの収益率向上
- ➡ 設備投資の見直し

2024年10月31日現在

商 号	株式会社エイチ・アイ・エス
上 場 市 場	東京証券取引所 プライム市場(証券コード9603)
登 録 番 号	観光庁長官登録旅行業第724号
資 本 金	100百万円
設 立	1980年12月19日
本 社	〒105-6905 東京都港区虎ノ門四丁目1番1号
売 上 高	連結3,433億円
従 業 員 数	連結12,372名
加 盟 団 体	日本旅行業協会(JATA) 国際航空運送協会(IATA)
取 引 銀 行	三井住友銀行 みずほ銀行 その他
ウェブサイトにおける情報提供	HISグループ コーポレートサイト https://www.his.co.jp/



本社エントランス

HIS

編集方針

本報告書は、HISグループの経営および企業活動全体をお伝えするため、経営の方向性や戦略、事業概況に加え、サステナビリティなどの非財務情報を総合的に取り入れて編集しています。
なお、本紙掲載の画像は、イメージも含まれております。

見通しに関するご注意

本報告書中の将来の見通しについては、HISが現在入手可能な情報から、報告書の作成時点において行った予測をもとに記載しているもので、一定のリスクや不確実性を内包しています。したがって、実際の業績が本報告書に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おください。

編集

株式会社エイチ・アイ・エス

瀬川 活	花崎 理	海津 誠之	大橋 裕直	中村 茂樹	小泉 優樹
堀江 佳彦	林 浩二	三浦 達樹	宇佐美 加奈	野田 恵	宗松 鈴菜
村杉 祐貴	篠藤 明史	板垣 勝也	久野 直歩	鈴木 莉菜	竹本 美夏
佐藤 航大	吉田 椎奈	甘利 日南乃	小幡 敬之	佐藤 真梨	

H.I.S.ホテルホールディングス株式会社
松本 真実

九州産業交通ホールディングス株式会社
鈴木 理智佳

株式会社ラグーナテンボス
中川 絢也香

H.I.S.Mobile株式会社
吉澤 孝治

Cross Eホールディングス株式会社
田羽多 美晴

発行日 2025年4月15日